

関西支部だより

時習館

かんさい

第 36 号〒541-0059 大阪市中央区博労町 1-7-16
山本通産株式会社内

時習館同窓会関西支部発行

TEL (06)6252-2131

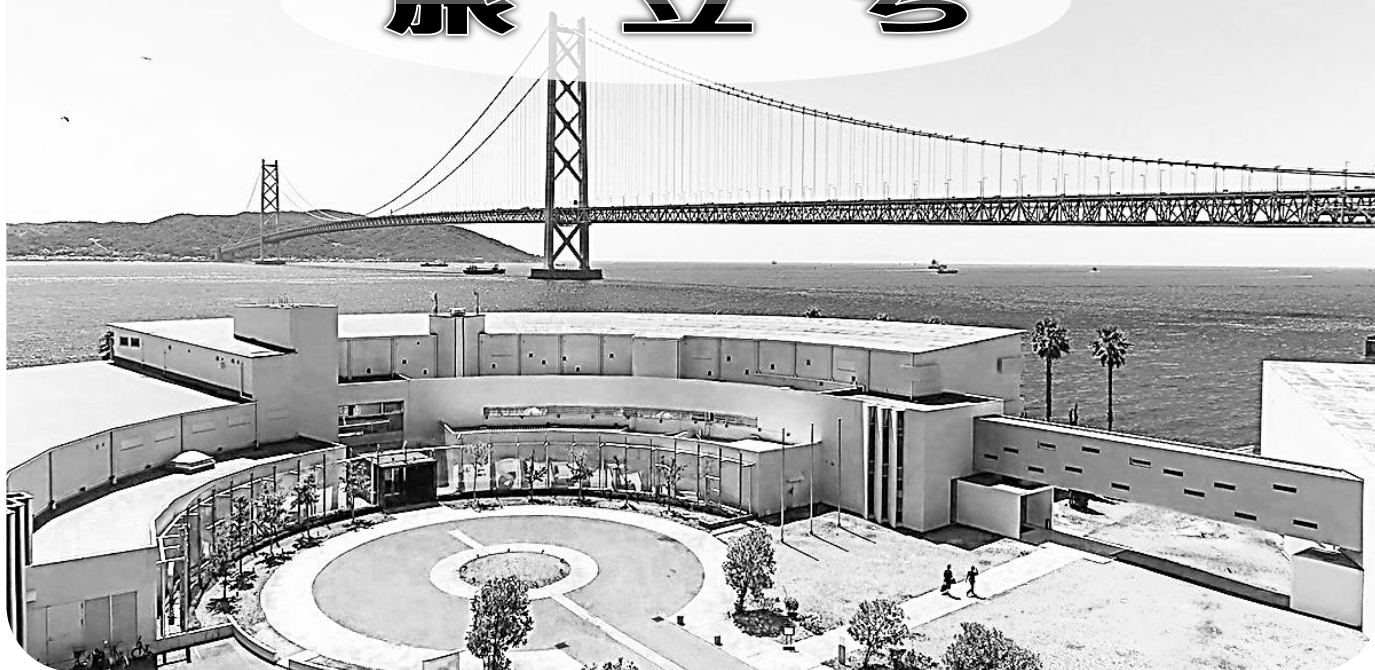
FAX (06)6262-3530

E-mail ishikawa@ytc-j.co.jp

振替口座番号 00960-3-32608

～コロナ禍を乗り越え～

旅立ち



ホテルセトレ神戸・舞子と明石海峡大橋

関西支部総会開催 2022年6月19日(日) 11時～15時

35号でご案内していました第54回時習館同窓会関西支部総会・懇親会の2021年度開催は、新型コロナウイルスの流行の継続によりやむを得ず延期しました。

今なお予断を許さない状況ではありますが、ワクチン接種が進んできたことや感染対策を行っての会食が浸透してきたことを考慮して、総会・懇親会を下記の通り開催いたします。

コロナ禍での開催とはなりますが、3年ぶりに皆さんと笑顔でお会いできればと思っていますので、ご参加をお願いいたします。

なお、ホームページで情報をお伝えして参りますのでご覧ください。

時習館同窓会関西支部ホームページURL <http://jk-kansai.com/>

記

第54回時習館同窓会関西支部総会・懇親会

と き：2022年6月19日(日) 11時～15時

と ころ：ホテルセトレ神戸・舞子

会 費：10,000円 (学生 3,000円)

本誌ではコロナ禍後を見据えて、「旅立ち」をキーワードにして編集しました。

(注) 年号表記は西暦を基本とします。状況に応じて和暦も随時、使います。(編集部)

もくじ

「自ら考え、自ら成す」を胸に！	石川吉之助	1	
〈支部活動報告など〉			
2021年度支部活動		2	
2021年度分年会費納入者および2021年度関西支部役員		3	
2019年度、2020年度および2021年度会計報告		4	
「鈴木亜由子さん応援募金」会計報告		5	
第54回時習館同窓会関西支部総会・懇親会に向けて	関西支部事務局	6	
コロナ禍で同窓会の存続とデジタル化について	東孝二郎	7	
絶景明石海峡大橋を前にして～笑顔でお会いしましょう～	松井誠一郎	15	
〈特別寄稿〉			
(財)時習館同窓会教育基金について	時習館同窓会本部	安形 哲夫	17
ウィズコロナ時代に考えた校風の継承について	時習館高等学校	須藤 絢美	19
〈会員便り 旅立ち〉			
「蜀」の風情	尾野あつ子	23	
比較言語学あれこれ～ネパール、インドの女性と語らって～	菅原 民生	25	
スリリングな我が航海誌(その6)	成田 一郎	28	
営農型太陽光発電から地産地消の食へ	近藤 洋	33	
我が家のお正月準備を振り返って	米田 隆子	36	
遊行期 友とするのは 五七五	山崎 達彦	37	
長田神社のアオバズク～成長過程をじっくり観察できて幸せ～	熊谷 信哉	39	
企業CMへの出演	吉田 知未	41	
ピアノのせんせい～楽譜は世界共通♪魔法の言語～	尾野 文香	43	
〈特別投稿〉			
「時習サロン」の活動紹介(東京支部より)	佐野 佳伸	47	
支部名物「トヨの会」(名古屋支部より)	松原 秀式	51	
〈支部だより〉			
草花を愛でる「ちょっと間の楽しみ」	小野 英道	55	
「時習館同窓会関西支部ゴルフ会」～報告ならびにお知らせ～	利根川 躍	57	
〈お知らせ〉			
「事務局からのお知らせ」および「会員の動静」		59	
「会計からのお知らせ」&『時習館かんさい』へ投稿してみませんか		61	
編集後記		62	



「自ら考え、自ら成す」を胸に！

時習館同窓会関西支部

支部長 石川 吉之助（時習 12）

新型コロナウイルスのパンデミックが始まり 2 年以上が経過した。グローバリズムによって地球の隅々までつながった現在、新型コロナウイルスは瞬く間に広がり、世界中で未だに感染が拡大している。人類の歴史は感染症との闘いと言われるように、天然痘やペストなど、私たちはいくつものパンデミックを乗り越えて生き延びてきた。前世紀には“スペイン風邪”があった。当時の総人口の 1/4 程にあたる 5 億人が感染し、4 千万人が死亡したとされる。

一方で、ロシアがウクライナに侵攻し、間もなく 2 カ月が経とうとしている。厳しい経済制裁を受けてもロシアが手を引く様子はなく、人道危機は深刻化している。この冷酷な現実とは、世界の安全保障や経済にどんな課題を与えているのだろうか。この戦争は世界に大きなダメージを残すであろう。

今日の如く厳しく、いろいろなストレスを感じざるを得ない時代、「楽しい・わくわく」「自信・誇り」といった正の感情より「心配・不安」「怒り・嫌悪」などの負の感情を、より多くの方が職場や家庭でも頻繁に経験する。

我が時習館高校第 10 代校長・熊谷三郎先生の教え、有名な「自考の石」には「みずか

ら考え 自ら成す」と記され、1952 年（昭和 27 年）の卒業アルバムには熊谷校長自筆の書で「みずから考え 自ら成すことのできる人間たれ」とある由、今の時代により相応しい言葉である。何事に対しても「自己決定」、自ら選んだことなら熱心に取り組むのは当然だ。仮に失敗しても自発的挑戦ならそこからの「学び」は大きいはずだ。

2005 年（平成 17 年）時習館同窓会関西支部設立 50 周年を機に朝日奈支部長から引き継ぎを受けて以来 17 年が経ちます。国家であれ企業であれ、組織は時代とともに変革できる者のみが生き残る、「不易と流行」を念頭にやってみてまいりました。永きにわたり、関西支部の皆様のご協力と時習館同窓会本部役員の方々、母校の多くの先生方のご指導ご支援により、無事任期を終えることができます。ありがとうございました。新型コロナ拡大に見舞われ支部総会も延期せざるを得なくなり、役員交代が遅れましたが、後任の支部長には竹内隆夫氏が内定しております。新支部長はじめ、新役員の皆様への益々のご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2021年度 支部活動

○ 活動概要

2021年度も支部の活動は、主にメーリングリストと Zoom の活用となりました。

メーリングリストでは、連絡事項にとどまらず、近況報告やワクチン接種についての情報交換など、さまざまな内容の投稿がありました。

前年度に続き、Zoom を使った交流会も実施しました。新型コロナウイルスの流行のはざまを狙ってリアルな「時習さろん」も 2 回開催しました。以下、スナップも交えて活動内容を報告します。

○ Web 時習サロン

Zoom を使った「Web 時習サロン」を 2 回（6 月 12 日、7 月 24 日）に実施しました。7 月 24 日はリアル「時習さろん」と同時開催となり「時習さろん」と Zoom を通じでの交流も行いました。

Zoom による交流は、参加者の偏りが気になります。その中、6 月 12 日の開催では、本田一彦さん（時 40、写真右上）と元東京支部長、現在関西支部会員の岡田康彦さん（時 14、写真中段左）が初めて参加されました。



6 月 12 日の「Web 時習サロン」参加者の皆さん

○ 時習さろん

新型コロナウイルスの流行状況を見ながら、リアルな「時習さろん」を 7 月 24 日と 11 月 27 日の 2 回開催しました。

7 月 24 日は、鈴木亜由子さんの応援募金贈呈式（鈴木亜由子さんのご実家にて実施）の前日とあって、参加者全員で鈴木亜由子さんの活躍を願いエールを送りました。

11 月 27 日は、第 5 波が収まりつつある時期に開催しました。



各テーブルの人数制限、テーブル間の距離、換気、消毒と感染対策を行っての開催となった

その後、オミクロン株への置き換わりと共に第 6 波の流行が始まったことを考えるとぎりぎりのタイミングでの開催でした。



11 月 27 日の「時習さろん」参加者の皆さん

○ 支部間交流の流れ

各支部が Zoom 等を使用した会員交流を進める中、支部間でも Zoom での情報交換を行っています。2022 年度も 1、2 カ月に 1 回の頻度で事務局長交流会を予定しています。



2022 年 4 月 18 日の事務局長交流会

上段：雑賀東京支部長、伊藤関西支部事務局長、松原名古屋支部幹事長
下段：近藤本部校内幹事と須藤本部校内幹事、河合関西支部副支部長、真木東京支部事務局長

2021年度分 年会費納入者

2021年度分 年会費納入者 (シニア会員)

杉浦 昭典 (豊47)	成田 一郎 (時10)	松尾 英城 (時13)	池田 和子 (時18)	鈴木加代子 (時21)
彦坂 利久 (時3)	荒島 啓子 (時11)	片岡 聰子 (時14)	江辺 和子 (時18)	鈴木 省三 (時21)
小野田 邦重 (時4)	竹内 郁子 (時11)	清水 克眞 (時14)	草尾 正治 (時18)	鈴木 晴久 (時21)
松永 宜範 (時4)	中村 篤司 (時11)	園家 文 (時14)	熊谷 信哉 (時18)	竹内 隆夫 (時21)
藤村 恵子 (時4)	藤田 佳久 (時11)	藤巻 篤子 (時14)	酒井 康利 (時18)	利根川 躍 (時21)
廣田 襄 (時7)	嶺田 次夫 (時11)	鈴木 寛治 (時15)	鈴木 康浩 (時18)	松岡 譲 (時21)
廣田 輝子 (時7)	美馬 洋子 (時11)	藤田 和弘 (時15)	吉田 眞子 (時18)	横井 愛子 (時21)
前田 泰宏 (時7)	阿部 安博 (時12)	山崎 達彦 (時15)	富山 幸世 (時19)	今川 正良 (時22)
岩田 孝枝 (時8)	石川 吉之助 (時12)	吉田 久善 (時15)	宇留島 美恵 (時20)	河合 佐千夫 (時22)
尾野 あつ子 (時8)	近藤 修 (時12)	吉黒 和廣 (時16)	岡田 行功 (時20)	河野 法子 (時22)
片岡 優美子 (時8)	杉浦 敏男 (時12)	市川 光雄 (時17)	河合 行朗 (時20)	夏目 恵史子 (時22)
草場 恒夫 (時8)	鈴木 茂樹 (時12)	宇井 正和 (時17)	小西 康雄 (時20)	西井 完 (時22)
榎原 勝朗 (時8)	伊藤 昭 (時13)	白井 一次 (時17)	鈴木 自 (時20)	荻原 敏 (時22)
松尾 昌子 (時9)	伊藤 忠男 (時13)	高島 義典 (時17)	松浦 茂男 (時20)	伊与田 功 (時23)
大石 由紀子 (時10)	小田 宗 (時13)	花井 俊作 (時17)	山口 真知子 (時20)	岸本 好枝 (時23)
北谷 栄治 (時10)	小野 英道 (時13)	山村 信哉 (時17)	梅田 洋一 (時21)	高桑 眞子 (時23)
菅原 民生 (時10)	近藤 洋 (時13)	吉岡 順子 (時17)	神藤 真由美 (時21)	中西 立美 (時23)

第53回総会にて、従来の「賛助会員」を「シニア会員」とすることが承認されました。

2021年度分 年会費納入者 (正会員)

池内 真弓 (時24)	善積 あさみ (時25)	本田 滝夫 (時29)	金井 裕子 (時36)	峯島 望美 (時44)
岡田 博子 (時24)	鈴木 優 (時26)	真木 伸治 (時29)	鈴木 富美子 (時36)	渡邊 淳子 (時45)
瀬野 敦子 (時24)	吉福 ゆかり (時26)	両角 成宏 (時29)	鈴木 慶太 (時38)	源馬 務 (時46)
竹内 光一 (時24)	和泉 裕子 (時27)	阿久津 詠美 (時30)	山畑 幸二 (時38)	福田 悦子 (時46)
高野 光代 (時24)	鬼本 英太郎 (時27)	菊井 昌代 (時30)	本多 一彦 (時40)	福本 礼子 (時47)
原田 典彦 (時24)	北川 井子 (時27)	夏目 君幸 (時30)	大久保 孝 (時41)	吉田 知未 (時50)
山本 雄二 (時24)	遠山 育夫 (時27)	馬場 奈都子 (時32)	小島 康裕 (時43)	尾野 文香 (時56)
石田 展弥 (時25)	松井 誠一郎 (時27)	中村 利久子 (時33)	小山 淳二 (時43)	山本 諭 (時56)
大道 安代 (時25)	藤井 順子 (時28)	直里 伸雄 (時34)	東 孝式郎 (時44)	山本 美帆 (時56)
大須賀 貴弘 (時25)	元木 いずみ (時28)	山本 政義 (時34)	高岡 有理 (時44)	根岸 直矢 (時57)
田中 義宏 (時25)	井口 章 (時29)	近田 昇 (時35)	久本 愛 (時44)	柳 菜津子 (時66)

(本誌作成着手以降にお振り込みいただいた方については、正確でない場合が考えられますので、その際はご容赦願います)

2021年度 時習館同窓会関西支部役員

HP 担当	顧 監 会	問 事 計	理 事	務 局 長	副 支 部 長	支 部 長
松井 誠一 郎	大中 春利	花根 俊文	尾野 孝文	久本 美昇	東田 奈津子	鈴木 英子
森宮 裕子	宮下 隆	米西 晴	松岡 行	鈴木 節	長岡 康	岡本 和
三堂 聡	三堂 聡	藤田 浩	片岡 弘	伊藤 忠	竹内 隆	河合 行
山内 信	山内 信	山内 信	山内 信	山内 信	山内 信	山内 信
川下 義	川下 義	川下 義	川下 義	川下 義	川下 義	川下 義
鈴木 茂	鈴木 茂	鈴木 茂	鈴木 茂	鈴木 茂	鈴木 茂	鈴木 茂
石川 吉之助	石川 吉之助	石川 吉之助	石川 吉之助	石川 吉之助	石川 吉之助	石川 吉之助

(注) 逝去された方、転居された方がおりますが、任期中のためそのまま記載しています

会計報告

2019 年度、2020 年度および 2021 年度の会計報告は第 54 回総会で審議予定

会計報告書 2019 年度

(収入の部)		(支出の部)	
前期繰越金	752,123	総会費 (ザ・ランドマークスクエア)	882,076
総会会費	680,000	会報印刷代、通信費&印刷代	435,949
正会員&シニア会員年会費	364,000	出張費・交通費	94,858
支部育成費 (本部より)	150,000	他支部交流費	10,000
寄付金	10,000	雑費 (会議室費他)	7,943
雑収入 (さろん残余金)	9,720	送金手数料	23,694
普通預金利息	4	次期繰越金	511,327
(合計)	1,965,847	(合計)	1,965,847

以上のとおりであります。 2020 年 4 月 6 日 会計 花井 俊作

2019 年度の事業の収支報告について、会計帳簿ならびに証憑書類について監査した結果、その収支および取り扱い方法は適正に執行されていたと認めます。

2020 年 4 月 6 日 監事 利根川 躍

会計報告書 2020 年度

(収入の部)		(支出の部)	
前期繰越金	511,327	会報印刷代	327,965
正会員年会費	104,000	通信費	97,984
シニア会員年会費	231,000	出張費・交通費	22,280
支部育成費 (本部より)	150,000	他支部交流費	0
寄付金	0	雑費 (会議室費他)	903
雑収入	0	送金手数料	21,505
普通預金利息	1	次期繰越金	525,691
(合計)	996,328	(合計)	996,328

以上のとおりであります。 2021 年 4 月 7 日 会計 花井 俊作

2020 年度の事業の収支報告について、会計帳簿ならびに証憑書類について監査した結果、その収支および取り扱い方法は適正に執行されていたと認めます。

2021 年 4 月 7 日 監事 利根川 躍

会計報告書 2021 年度

(収入の部)		(支出の部)	
前期繰越金	525,691	会報印刷代	347,050
正会員年会費	110,000	通信費	75,602
シニア会員年会費	234,000	出張費・交通費	0
支部育成費 (本部より)	150,000	他支部交流費	0
寄付金	0	雑費 (会議室費他)	0
雑収入	0	送金手数料	24,292
普通預金利息	1	次期繰越金	569,298
(合計)	1,019,692	(合計)	1,019,692

以上のとおりであります。 2022 年 4 月 10 日 会計 花井 俊作

2021 年度の事業の収支報告について、会計帳簿ならびに証憑書類について監査した結果、その収支および取り扱い方法は適正に執行されていたと認めます。

2022 年 4 月 10 日 監事 利根川 躍

「鈴木亜由子さん応援募金」会計報告

ご協力ありがとうございました

本応援募金は時習館同窓会として行い、本部、東京、名古屋および関西各地区の全同窓会会員を対象としています。なお、ご協力者のお名前、名称は省かせていただきます。入金額および支出額は次のとおりです。



東京オリンピックで激走する鈴木亜由子さん

(入金部)		(支出部)	
時習館支援東京基金より	218,500	水野染工場 (寄書き用旗代金)	81,380
個人およびグループより	362,879	鈴木亜由子さんへの贈呈	500,000
利息	1		
(合計)	581,380	(合計)	581,380



○ 応援旗の作成

2020年に実施されるはずだった東京オリンピック。同窓会では有志を募って現地(札幌)の沿道で亜由子さんを応援する計画を立て、支部ごとに応援旗を作成しました。

関西支部の応援旗は、園家文さん(時14)に「走れ」の文字を書いていただきました。



鈴木亜由子さんのご両親と共に

○ リアル「時習さろん」でエールを送る

7月24日に実施した「時習さろん」では、2週間後に迫ったオリンピック女子マラソンでの活躍を願い亜由子さんへエールを送りました。



○ 贈呈式の報告

7月25日に、小池同窓会長と伊藤関西支部事務局長が鈴木亜由子さんの実家(豊橋)を訪問しました。募金と応援旗をお父様にお渡しし、時習館同窓生全員が応援していることを伝えました。



鈴木亜由子さんのお父様(右)、小池会長(中央)、伊藤事務局長

○ オリンピックで力走

鈴木亜由子さんは、東京オリンピック(8月7日)では猛暑の中19位と健闘しました。後日、お父様と共に時習館を訪問して感謝の意を表されました。



オリンピックでの鈴木亜由子さん (お父様より提供)

第 54 回時習館同窓会関西支部総会・懇親会に向けて

～会員名簿および資料のデジタル化推進と役員人事刷新～



事務局長 伊藤 忠男 (時習 13)



○ 苦渋の選択、総会・懇親会の延期

関西支部発足以来 60 年弱、経過した。総会・懇親会はその間、初期の一時期数年間中止されたが、その後途切れることなく毎年行われ、半世紀近くになる。最近では 100 人近くの会員が集い「時習の輪」を広げていた。

会の存続はもとより、会員間の交流には欠かせない総会・懇親会は関西支部行事の中心であった。しかし、2020 年度に至り、今まで経験したことのない感染症に見舞われた。理事会では規約の解釈も含めいろいろな意見が出た。万全の感染対策で何とか開催できないかとの意見もあったが、会員の命優先との判断でやむなく延期した。まさに苦渋の選択であった。

それから 1 年が経過した。依然として新型コロナ感染症は終息の気配を見せず、2021 年度は 6 月開催を諦め秋開催を目論むも、これも断念せざるを得なかった。この 2 年間は不慣れな Web による行事が中心で、十分な活動とは言いがたく、極めて残念な状況であった。

○ コロナ禍がもたらした Web 利用の増大

理事会も 2020 年、2021 年秋の開催のみにとどまり、支部活動停滞の一因になっており心苦しい限りである。昨秋の理事会では、今後、今回と同様の事態が生じた時どう対処したらよいかを論議した。

世間ではコロナ禍で新しい活動スタイルが進んだ。若い世代を中心に Web 利用による交流が加速している。企業の会議でもその活用が広がっている。

しかし、同窓会会員の交流において Web の利用は十分とは言えず、会員の名簿や情報がデジタル化されていないことも電子媒介による交流促進の妨げになっている。

今後のことを考えたら、この課題を克服する必要があるとの認識で一致した。そのためには、電子データの取り扱いに慣れることから始めなくてはならない。この道はすぐ確立するものではないので、今から地道に準備することとした。

○ デジタル化企画を理事東孝武郎さんに依頼

デジタル化推進には、今までの考えを大きく変える必要がある。有効性や利便性を十分理解し、Web 利用に慣れることが必要である。さらに、個人情報取り扱いも重要な課題となる。

そこで、理事の中で、この道に明るい任天堂にお勤めの東孝武郎さん (時 44) に企画をお願いした。

デジタル化の概要は次頁以降にある東さんの提案をご参照いただきたい。その中に名簿データ登録方法の詳細が記載されていて、現在会員の皆さんに登録をお願いしているところである。また、総会で審議を予定しているプライバシーポリシー (案) も掲載している。

名簿の登録や会員間の Web での情報交換などを通じて、Web の利用を広げて行きたいと考えている。

○ 継続課題の Web 参加併用

先の理事会において第 54 回の総会・懇親会は必ず本年度中に開催するとした。新型コロナ感染症の流行状況によっては Web との併用も検討することにした。もちろん直接参加していただきたいが、今後は遠方の会員の参加促進や今回のような事態を考慮すると、Web 参加の併用は継続課題といえる。

同窓会の活動が活発になるには、若い人たちの参加が不可欠である。そのためには、全世代層にとって魅力ある行事が計画されなければならない。LINE などの SNS や YouTube などを取り入れ、より活動領域を広げることが求められる。

支部長をはじめとした主な役員は就任して 10 年以上が経過しており、役員人事の刷新が喫緊の課題となっていたが、昨年の理事会で人事案が内定している。

第 54 回総会・懇親会はホテルセトレ神戸・舞子で 6 月 19 日に開催する予定である。新役員人事と規約改正の審議等重要な議題がある。

是非、皆さんの参加をお願いしたい。

会員だより



コロナ禍で同窓会の存続とデジタル化について



東 孝三郎 (時習 44)



みなさまこんにちは。時習館 44 回卒の東です。理事会の決定に基づきデジタル化の推進に向けた取り組み方を記載しました。

全世界の方が同じ状況だったかと想像いたしますが、とにかく目まぐるしく変化する新型コロナウイルスに振り回され、この2年ほどはとても生活が難しい状況でした。オリンピックは無観客で開催され、音楽活動、文化芸能活動、スポーツイベント、学校行事など、あらゆる規模のイベントが中止・規模の縮小を余儀なくされ、我々の総会も2年連続で開催を見送ることとなりました。

新型コロナウイルスのまん延は、我々の生活を根底から変え、生活様式を見直す抗いようのない力となっているように感じます。テレワークによる通勤からの解放、またそれによるネクタイ・スーツなどからの解放、都市生活からの解放、「付き合い」からの解放など、全部「オンラインでいいではないか」というある種極端な合理的思考は、ニューノーマルという言葉とともに、新しい価値観を生み出したようにも思います。

これまで必要だと思っていたものがそうではなくなった、つまり生活必需品の定義が変わってゆくなかで、「同窓会」という形の団体も何かを変えないと存続できない、そんな危機感すら覚えました。同窓会のあり方も、そうした変化に対応しないと回らなくなる。そう思い立って考えたのが運営の「デジタル化」です。

中心的な考えは、以下の3つです。

- 名簿管理のデジタル化
- 連絡手段のデジタル化
- 総会運営のデジタル化

若い後輩たちだけでなく、諸先輩方にもご理解とご協力をお願い申し上げたく、温かいコーヒーやお茶でもお召しになりながら、気楽にお読みいただければ幸いです。

○ 名簿管理のデジタル化

昨年の10月に、6月から延期された21年度の総会を行うかどうかの理事会を行いました。みなさまには伊藤事務局長から総会への出欠を伺うハガキが送られたかと思います。

多くの方が手書きでご返送くださったハガキは、事務局で1枚1枚集計され、また住所等ご異動があられた方の情報は、事務局長が代々受け継いでおられるデータベースを上書きするという作業を行っておりました。多くの方にご参加いただきたい反面、100名にご返信いただくと、100の作業が発生するということが、従来の管理方法でした。

赤い羽根募金をご想像いただくと分かりやすいのではないかと思います。1円を1万人が投げれば1万円。ひとりが1万円を投じても結果は同じですが、1人あたりの負担は大きく違います。名簿管理もこれと同様の発想で、今後の

維持・管理を考えていきたいというのが、まず1点目の「名簿管理のデジタル化」です。

これまでは数百名分の名簿情報をおひとりが管理していましたが、傘寿をお迎えになった伊藤事務局長がまもなくご退任されます。同窓生が今後も増えていくことが想定される中、これまでの方法で会員情報の管理をすることはとても大変ですので、募金と同じく、おのおのに少しずつ負担をお願いすることで、全体を支えようという発想で、新たに時習館関西の同窓会名簿を作り直すとしております。

たいへんお手数をおかけしますが、まずひとつ目に、これまでもご連絡先をいただいていた方も含め【すべての方に名簿への登録】をお願い申し上げる次第です。(後のページに登録の案内がございます)

○ 個人情報のセキュリティについて

時習館高校の諸先輩方は様々な方面でご活躍されておられますので、名簿にはそれだけ高い価値があります。

一方で、デジタル化社会では個人情報の取り扱い意識が大きく変わり、今では小学校のクラス名簿もない時代ですので、みなさまから名前、住所、電話番号、Eメールアドレスなどをお預かりする以上、取り扱いも厳重にしなければいけません。

だれかが個人で、個人情報の取り扱い責任を負うことはもはや難しい状況となっているため、個人情報保護を事業とするサービスに、それを委託することにしました。

とはいえ、いきなり高価なソフトウェアを購入することはできませんので、安価なサービスを選定する代わりに、広告が表示されてしまうという代償はありますが、まずはみなさまから

お預かりした情報を、適正に取り扱い、保管・管理ができるという水準で、サービスを選定しました。

名簿へのご登録で見慣れないページが開くのはそのためです。不安に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、どうかご容赦を賜ればと存じます。

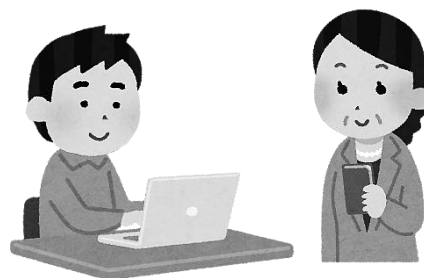
○ 連絡手段のデジタル化

先ほども触れましたが、総会の出欠確認の大部分はハガキで行っております。名簿管理のデジタル化によって、みなさまからEメールアドレスをお預かりしたり、またはLINEの公式アカウントとお友達登録をしていただくことで、コミュニケーションのスピードや省力化を行うことが可能になります。

パソコンをお使いの方は、すでにEメールでの連絡はお馴染みかもしれませんが、スマートフォンの普及でLINEのほうが主流になり、Eメールすらお使いにならない方も増えてきています。公式アカウントにお友達登録していただければ、こちらからの一斉配信に加え、個別のやり取りも非常に手軽にできます。

もちろん、EメールやLINEをお使いにならない方には、ハガキでの連絡は今後も継続いたしますのでご安心ください。

名簿登録の際に、ハガキ連絡の要・不要も質問させていただいておりますので、可能な限り【連絡手段に切り替え】にご賛同をお願い申し上げます。



○ 総会運用のデジタル化

コロナ禍において最も合理化が進んだのは、「通勤」ではないでしょうか。

まさか会社に行かなくても仕事ができるようになる日が来るとは、5年前には想像もしていませんでしたが、今は推奨される世の中であることは、ご承知の通りです。

その代わりに普及したのが「オンラインコミュニケーション」つまりビデオ通話であり、その代表的なサービス名が「Zoom（ズーム）」と呼ばれています。いわゆる GAF A と呼ばれる巨大 IT 会社はいずれも同様のサービスを提供していますので、ビデオ通話がすべて Zoom ではありませんが、事務局で使い慣れているのが Zoom というサービスであるというご理解をしていただければよいかと存じます。

集まることができなければ総会が開けない。

総会が開けなければ同窓会の活動ができない。

単純な論法ではそうなりますので、総会が開けないことは、会の存続においてはとても重要な懸念です。しかし会社はビデオ通話を使用して働く方向に変化しており、今後の社会からその選択肢が消えることはないと思われます。

Zoom を使うためにはパソコン、もしくはスマートフォンやタブレットが必要ですので、オンラインのみで総会を開こうという主旨ではございません。可能であれば、集まって総会を開くべきというのがあった上で、それでも何らかの事情で参加できない方もいらっしゃいます。

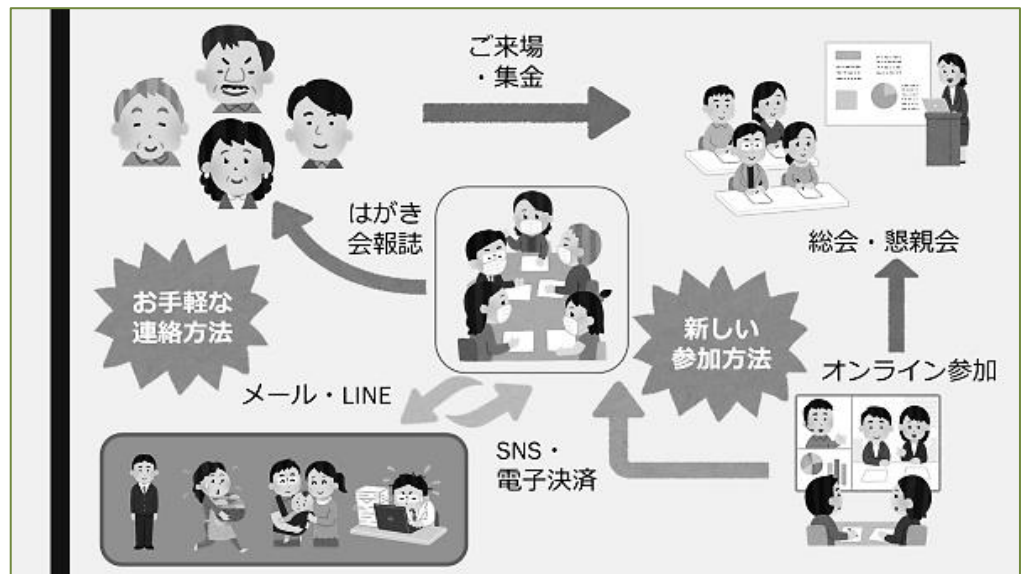
これは、新たな参加の選択肢として「オンラインでの参加」が可能になるよう準備をしようとするものですので、今後も【総会へのご参加】をよろしくお願い申し上げます。

○ まとめ

次回総会をもってご退任される石川支部長、伊藤事務局長、長い間お疲れさまでございました。



会の求心力を保ち、存続させていくためには多大な努力と熱意が必要です。今後も会はずますます大きくなるでしょうし、引き継いでいく世代ができるだけ軽い負担で継承できるよう、会員のみなさまが全員で、少しずつ分散して、維持していくことができる「仕組み」を提案したいと思い、今回の「デジタル化計画」を発案させていただきました。



主旨をご理解いただき、会員のみなさまにお願いしたいことは次の3つです。

1. 会員名簿の登録をご自身でお願いします。
2. 電子メールもしくはLINEをご利用ください。
3. Zoomでもできるだけ総会にご参加ください。

何卒ご理解とご支援のほどをよろしくお願い致します。

▼▼▼LINE 公式アカウントについてのご案内▼▼▼



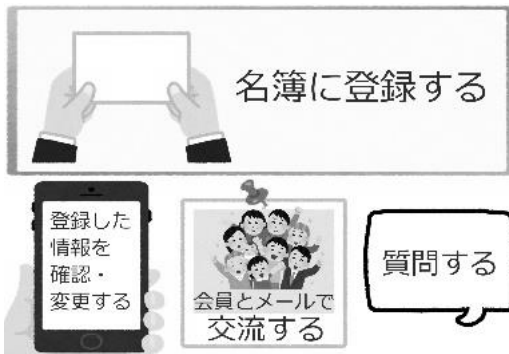
時習館同窓会関西支部の LINE公式アカウントへお友達登録する



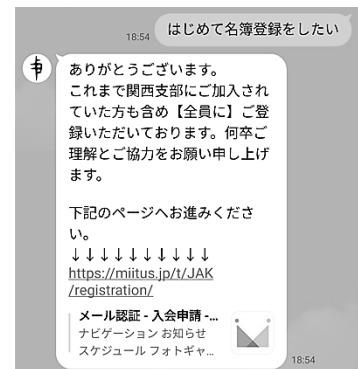
スマートフォンで
右のQRコードを
読み取ってください



ご登録いただくと、LINE の画面内に下記のようなボタンが表示されます。



「名簿に登録する」を押すと、右の案内文が表示されますので、名簿登録ページに進んでください。(次のページに登録の案内を載せています)



そのほかにも、このようなことができます。

● 登録した情報を確認・変更する

名簿にご登録いただいた内容を後から確認・変更するためのメニューです。お引越しなどされた際には、情報を更新いただけると幸いです！

● 会員とメールで交流する

メールアドレスをお持ちであれば、グループメールに参加いただくことが可能です。すでに 100 名以上がご登録いただいています！

● 質問する

LINE でご質問を受け付けております。すぐにはご回答できないこともありますが、個別にお答えいたします。他の方には見えませんので、お気軽にご質問ください！

▼▼▼名簿登録についてのご案内▼▼▼



時習館同窓会関西支部の名簿に登録する



スマートフォンの方は
右のQRコードを
読み取ってください



パソコンをお使いの方はこちらから
mitus.jp/t/JAK/registration/

① 画面の指示に従って情報を入力し、送信してください。

— 入会申請 —

『時習館同窓会関西支部』アカウント発行申請致します。下記項目に入力をお願いします。

メールアドレス認証

氏名	必須	姓	<input type="text" value="山田"/>	名	<input type="text" value="太郎"/>
フリガナ	必須	セイ	<input type="text" value="ヤマダ"/>	メイ	<input type="text" value="タロウ"/>
メールアドレス	必須	<input type="text" value="Eメールアドレス"/>			

※ドメイン指定受信を設定されている方は「no-reply@mitus.jp」からのメールを受信可能に設定してください。

・すでに会員の方にも「入会申請」と表示されますが、お気になさらず記入してください。

・メールアドレスは、普段お使いのものをご入力ください。

・LINE から進んでも、この画面が表示されます。

これで終わりではありません！入力したメールアドレスにメールが届きます。

②届いたメールをご確認いただき、下記枠内の URL をクリックしてください。

時習館同窓会関西支部事務局 <no-reply@miius.jp>
 To 自分

時習館同窓会関西支部 入会申請確認メール

様

時習館同窓会関西支部の入会申請のお申込みを受け付けました。

受付番号：

登録団体： 時習館同窓会関西支部

登録を完了するために、以下のURLから入会申請を行ってください。
 → <https://miius.jp/t/JAK/registration/auth/27eefe58522725e878494d345356afe4/>

・このメールの有効期限は までです。

有効期限がありますので、ご注意ください。

③ 移動したページにて、登録を完了してください。

— 登録申請フォーム —

ユーザー情報入力

氏名	必須	姓 <input type="text"/>		名 <input type="text"/>
フリガナ	必須	セイ <input type="text"/>		メイ <input type="text"/>
郵便番号	必須	<input type="text" value="例) 123"/>	-	<input type="text" value="例) 4567"/>
都道府県	必須	<input type="text" value="-- 選択してください --"/>		
住所	必須	<input type="text" value="例) ○○区△△町"/>		
建物名や部屋番号		<input type="text" value="例) ○△ビル123号室"/>		
		<small>※建物名がある場合は必ず入力して下さい</small>		
連絡先	必須	<input type="text" value="例) 090-0000-0000"/>		
		<small>※/(ハイフン)を付けて入力してください</small>		
生年月日	必須	<input type="text" value="2016"/>	年	<input type="text" value="-"/>
			月	<input type="text" value="-"/>
			日	<input type="text" value="-"/>
性別		<input type="text" value="-- 選択してください --"/>		

送信後に、完了を確認するメールが届きます。

時習館同窓会関西支部プライバシーポリシー(案)

(第 54 回総会にて審議用役員会案)

時習館同窓会関西支部（以下「当支部」という）では、会員相互の親睦を図るため、同窓会総会、会合の開催その他当支部の目的達成に必要な業務を行っており、それに必要な会員の個人情報を収集・保管しております。

当支部は会員の個人情報保護の重要性を強く認識し、当支部規約に従い、以下の通りプライバシーポリシー（以下「本ポリシー」という）を定め、会員の個人情報の適切な保護に努めます。また、今後とも個人情報への意識向上を図り、個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。

会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

【法の遵守と個人情報の管理】

当支部では「個人情報保護に関する法律」やその他個人情報に適用される関係法令を遵守するとともに、一般に公平と認められる個人情報の取り扱い慣行に準拠し、本ポリシーの下で、個人情報を厳重に管理致します。また、紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどを防止するため、情報セキュリティ対策等の必要な措置を講じ、個人情報の保護に努めます。

【個人情報の定義】

当支部での個人情報とは、会員個人に関する情報であって、特定の会員を識別できるものをいいます（その情報のみでは識別できない場合でも、他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の会員を識別できるものを含みます）。

なお、具体的に当支部が保有する個人情報は、氏名（現姓名、旧姓名）、生年月日、連絡先住所、電話番号、FAX 番号、勤務先名、最終学歴、所属クラブ（在学時代）、メールアドレス、卒業回及び出身小・中学校等です。

【個人情報の利用目的】

当支部は、本会会員よりいただいた個人情報は以下の目的に利用するものとし、その目的を超えて利用することはありません。

- ① 当支部の主催する業務などの報告、案内、及びそれにかかる連絡事項の送付。
- ② 会報等（電子媒体によるものを含み、当支部の活動目的に適うものに限る）の配布。
- ③ 会費、寄付金の収受管理、会費徴収にかかわる事務、案内。
- ④ 当支部もしくは時習館高校、時習館同窓会本部および当同窓会他支部からの各種依頼の伝達・送付。
- ⑤ その他、当支部の規約に定める、会員相互の親睦を図る目的の遂行のために必要と判断される諸業務。

【業務委託先に対する個人情報の提供、監督】

利用目的に係る業務を行うにあたり、その業務の一部を委託し、利用目的の達成に必要な範囲内で業務委託先に提供する場合（会報の印刷、郵便物の発送等）は、業務委託先との間で取り扱いに関する契約を取り交わし、適切な管理を行います。

【個人情報の第三者への提供】

当支部が保有する個人情報は、第三者に提供致しません。ただし、次のいずれかに該当する場合を除きます。

- ① 会員の同意がある場合
- ② 法律に基づき開示しなければならない場合
- ③ 当支部の合意の下、時習館高校、時習館同窓会本部もしくは他の同窓会支部が、その利用目的の範囲内で利用する場合
- ④ 人命・身体・財産等に対する緊急の必要性がある場合。

なお、個人情報の第三者への提供を望まない場合は、当支部までお申し出ください。お申し出がない場合は、原則として本ポリシーに従い取り扱い致します。

【個人情報の開示、訂正、削除等】

当支部は、本人からの開示、訂正、削除の請求があった場合は、当該本人であることを確認のうえ、速やかに対応致します。

【免責事項】

当支部は、本ポリシーに則り適切に情報管理を行いますが、会員が個人的に所有する他の会員の個人情報を提供した場合は、当支部は一切の責任を負わないものとします。

【本ポリシーの改定】

本ポリシーの改訂は理事会にて行うことができます。改定した場合は速やかに、当支部の電子情報にて一定期間掲載するなど必要な措置を講じます。

【お問い合わせ】

当支部の個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

時習館高校同窓会関西支部事務局

〒
住所：
Tel：
E-mail： jishukan.alumni.kansai@gmail.com

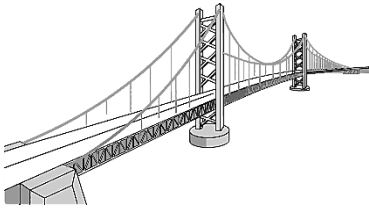
注：お問い合わせ先が空欄になっていますが、関西支部事務局が総会審議案件のため、総会にて決定後発効時に記載します。

絶景明石海峡大橋を前にして

～笑顔でお会いしましょう～

第54回関西支部総会に寄せる

実行委員長 松井誠一郎（時習27）



2022年度、第54回時習館同窓会関西支部総会は「ホテルセトレ神戸・舞子」で開催する計画です。

コロナ感染予防対策のノウハウが蓄積され、多くの方が3回目のワクチン接種を終えています。

こうした事情を考え、コロナで2年延期せざるを得なかった総会、今年こそは、感染対策を行い、開催に踏み切ろうとの思いを強くしています。皆さんと、久々にお会いできるのがとても楽しみです。

○ 語らいの場にふさわしい会場

開催場所になる「ホテルセトレ神戸・舞子」は舞子公園に隣接し、「神戸の街」と「淡路の大地」が出合う海辺にあります。目前に明石海峡大橋、その向こうに淡路島を臨むことが出来、旬の食材を活かした最高のお料理と絶景が売り物のホテルです。



会場から明石海峡大橋を臨む

人と人の絆を大切にする「コミュニティホテル」がこのホテルのコンセプト。皆さんとの語らい、交流を深めるには最もふさわしいところと思っています。

○ 明石海峡大橋を渡れば淡路から阿波

目の前に見える吊り橋から淡路へはすぐそこ、そこから阿波へも目と鼻の先です。

阿波と言えば、「阿波の殿様 蜂須賀様（蜂須賀公）が今に残せし阿波おどり」と歌い込まれているように、人々の間で親しまれている阿波踊り、1586年が起源だとのこと、それから440年近く続いています。四国との架け橋を演出できればと考え、近藤

洋さん（時13）が参加されておられる、垂水の阿波踊り「ぐるーぶ颯」をお呼びし、阿波踊りをともに楽しむ計画です。

近藤さんにお聞きすると「たかが阿波踊り、されど阿波踊り」、阿波踊りの魅力を伝えるため日々さまざまな活動をされているとのことでした。



阿波踊り「ぐるーぶ颯」練習風景
(左端が近藤さん)

○ 愛知大学藤田名誉教授の講演と孫文記念館

ホテルから明石海峡大橋への途中、舞子公園内に孫文記念館があり、孫文の歴史を探れます。それに関連して、愛知大学名誉教授藤田佳久先生（時11）に講演していただきます。

愛知大学は上海で日本人のための学校として1901年に設立されたのが前身。当時グローバルな意識を持ち続けた知識人を唯一輩出した伝統校です。孫文との関わり等を含め、博識の先生から興味深いお話を伺えると思います。



藤田佳久先生

○ 魅力あふれる第54回総会・懇親会へ

第54回総会・懇親会は魅力あふれる企画に心掛けたつもりです。皆さんのまばゆいばかりの笑顔が浮かび、待ち遠しい思いです。なんとか対面での総会・懇親会が実現し、コロナで沈んだ気持ちを吹き飛ばしたいと思います。本総会では役員改選と規約改正も予定されており、皆さんの参加を心からお待ちしております。

特別寄稿

母校、本部よりの便り



本部よりの報告



申



(財) 時習館同窓会教育基金について

同窓会本部副会長兼教育基金理事長 安形 哲夫 (時 24)

関西支部より支部会報に標記基金について寄稿のご依頼を受けましたので

- 1, これまでの経緯
- 2, 教育基金の体制、活動内容
- 3, 今後の活動計画等

につきましてご報告させていただきます。まだまだ始まったばかりで令和4年度の活動開始に向けての準備の真っ最中ですが、関西支部の皆様のご理解とこれからのご協力の一助になればと願っています。

○ これまでの経緯

ご存じのように、時習館高校は文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール (SSH) やスーパーグローバルハイスクール (SGH) の指定を受け、愛知県からもあいちグローバルハイスクール (AGH) の指定を受けています。こうした指定に伴う援助により時習館高校は英国2校、ドイツ1校、マレーシア1校と国際交流を実施してきました。(2020年からはコロナ禍により中断中)

ただし指定による援助だけでは十分な活動ができないため、PTAの支援、卒業25, 50周年の卒業生からの寄付金等で活動を続けてきました。一方、国、県からの援助は永続するという保証もなく、安定的な財源無くしては継続的な国際交流は望めません。加えて格差問題が叫ばれる中、生徒たちの進学支援や海外留学支援も視野に入れていかねばなりません。

こうした状況下、2020年12月の同窓会三役会で「埼玉県立浦和高校同窓会奨学財団」の事例が紹介され、本校同窓会も財団設立の検討をすることとなりました。また偶然軌を一にして本校 OB

の篤志家から多額の寄付の申し出を頂き、財団設立が加速されました。

関係者の皆様の熱意とご努力により、2021年10月には同窓会の理事会で「一般財団法人時習館同窓会教育基金」の設立と、同窓会予算の中から300万円の出捐の承認を頂き、設立の運びとなりました。

○ 教育基金の体制と活動内容について

(1) 体制につきましては

・評議員

議長 小池 高弘(時 25)

花田 直秀 (時 22) 富田 佳央 (時 24)

日比 孝志 (時 25) 福井 英輔 (時 26)

小栗 俊朗 (時 28) 小林 佳雄 (時 19)

・理事

理事長 安形 哲夫 (時 24)

高須 博久 (時 21) 大須賀憲太 (時 20)

小野 全子 (時 30) 小野 喜明 (時 29)

石川 誠 (時 33)

・監事

大河 一夫 (時 16) 伊藤 眞芳 (時 22)

の各氏にお引き受け頂きました。

(2) 事業の内容は次回理事会にて最終決定となりますが、現在の案と致しましては

a,奨学金の給付

b,海外留学の支援

c,国際交流の支援

d,国際交流を行う補助教員に対する支援

e,時習館高等学校の教育環境改善のための支援

f,その他この法人の目的を達成するための必要

な事業を計画しております。

○ 今後の活動計画

(1) 公益財団法人に向けて

2022年4月より活動をスタートし、奨学金の給付や海外留学支援、海外交流支援等を実施して、まずは実績を重ねていきたいと考えています。実績を重ねることで今は「一般財団法人」という位置づけですが、出来るだけ早く「公益財団法人」の認可を得たいと思っています。この違いは「公益財団法人」になれば寄付金は税額控除の対象となり、広く寄付を募ることが出来、教育基金の財源の安定化、ひいては支援活動の充実につながるからです。

大変なことではありますが、全国では浦和高校以外にも20以上の公立高校同窓会が奨学財団を運営していると聞き及んでおります。愛知県内では県立西尾高校が既に「公益財団法人」の認可を得ています。我々もこうした先達から多くを学び、一日も早い認可を目指してまいります。

(2) 今後の財政について

篤志家OBの方の貴重な寄付金と時習館同窓会予算からの出捐金300万円だけでは安定的な運営は望めないのです、これからも卒業25、50周年の方からの寄付金に加え、同窓会理事会の承認を得たうえでさらなる出捐等で財政基盤の確立を図るとともに、リスク管理したうえでの運用等も検討していかなくてはならないと思っています。また2023年に時習館創立130周年を迎える中で寄付金を募るかは未定ですが、これも検討課題ととらえています。

とにかく安定的な財政基盤なくしては生徒たちにしてあげられる支援は限られてきます。そのためにも先ほど述べました「公益財団法人」化とそれを梃にした積極的な募金活動が重要になってまいります。

○ 終わりに

以上教育基金設立の経緯と今後の活動についてご報告いたしました。以下につきましては私見で

すが、今後の時習館の生徒たちや時習館そのものの将来について考えてみました。

これから21世紀を生き抜いていかねばならない生徒たちには

a, 国際対応力

国際化は避けて通れない課題ですが、その為には外国語能力のみならず海外と対等に渡り合える国際的知識、教養と外国人から尊敬されるのに必須な自国文化、歴史への理解が必要です。国際交流、海外留学を通じて若い時から気付いて貰えればと思います。

b, IT, AI に関する知識、理解

日本が先進国の中で最低レベルで、開発途上国にも抜かれつつある「生産性」。国の内外で長い間生産現場にかかわってきた個人的体験（日本はモノづくりでは負けていない）では腑に落ちなかったのですが、ことIT, AI関係になると日本のホワイトカラーのレベルの低さは慄然とするものがあります。「今の子はスマホで慣れているから大丈夫」というのは楽観的誤解です。私の勤めていた会社では新入社員のIT能力が問題になっていました。「スマホは使えるけどIT全体に対する理解はいまいち」というのは笑い話ではありません。スマホ、パソコンに限らずIT, AIに関する基本的理解、能力を若いうちから鍛えておく必要があります。

c, 経済、社会的知識

経済音痴では世の中は渡れません。最低限の経済、金融知識と世の中の事象との関連を理解しておくプログラムは高校生のころから必要です。

(PTAの方からもこうした提案が寄せられました)

上記a,b,cを時習館の生徒に与える機会を将来この教育基金がサポートし、結果卒業生が社会の荒波を乗り越えて大成すれば母校時習館の名声も高まり、それがさらに優秀な生徒を集める好循環になることを願うのは私だけでしょうか？

まだ始まったばかりの活動ですがどうか皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

母校よりの報告



自考の石

申

ウィズコロナ時代に考えた
校風の継承について



～「自ら考え 自ら成す」のそもそも論～

時習館高等学校教諭

須藤 絢美 (時 50)

時習館同窓会関西支部の皆様には、本校の教育活動の充実に格別のお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。昨年に引き続いてこのページを担当させていただきます。この1年もコロナ禍で皆様もさまざまな活動に影響が及んだものとお察し申し上げます。少しでも元気をお届けしたいと思い、今年もこの1年本校で見つめたものをご報告致します。なお、令和4年2月8日時点でこの記事を書いています。

○ 学校の様子 (令和3年度)

令和3年度は、第76回生が無事入学してきました。学校行事では感染症拡大防止の観点から4月の新入生歓迎会は、前半と後半で生徒が入れ替わって行われました。5月中旬には緊急事態宣言が出され、6月に予定されていた修学旅行(長崎・福岡・山口方面)は令和4年1月に延期。しかし、この1月からの第6波で再延期となりました。同じ6月に予定されていた遠足は10月に延期となり、目的地を変えて実施されました。私は3年担当で、三重県のナガシマスパーランドへ行く予定でしたが、愛知県内の名古屋港水族館に変更、生



ファイヤーストーム (令和3年9月)
中央が森島日出夫校長

徒は泳ぐ魚に癒されていました。9月の時習祭はちょうど第5波の真っ只中の緊急事態宣言下ではありませんでしたが、感染症予防を徹底して実施されました。とくに男子生徒が参加するファイヤーストームは森島日出夫校長(時習33回)の入場後、規模を縮小した形とはなりましたが、無事実施されました。まさにウィズコロナを体現した形となりました。

イギリス、ドイツ、マレーシアの姉妹校との国際交流は、感染症の影響で今年もすべて中止となりましたが、オンラインでの交流は行っています。また、本校は理数科教育に力をいれる文部科学省

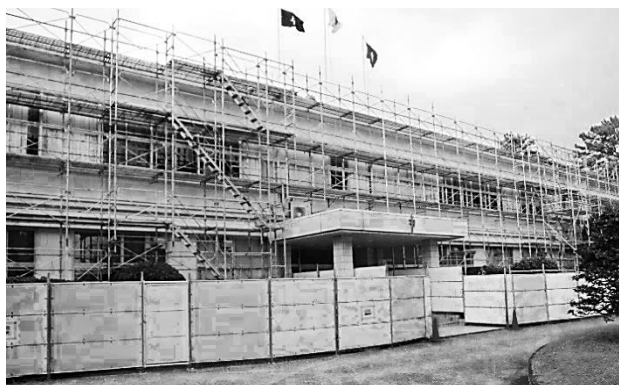


マレーシア・ジッシン校とのオンライン交流
(令和3年8月)

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校として、豊橋技術科学大学の全面協力の下、オンラインによる発表およびご指導をいただきました。またグローバル人材育成のための愛知県教育委員会のAGH(あいちグローバルハイスクール)指定校として、こちらは愛知大学の先生のご指導の下、生徒は探究活動を行ってきました。オンラインでの企業との連携では、NHKのご協力の下、2年生文系の生徒が取り組んでいるSDGs(国連の持続可能な開発目標)の中の「ジェンダー平等とスポーツとの関わり」について、大学教授のご講演を聴くことができました。進路状況につきましては、本校ホームページをご覧ください。

次に部活動では、陸上部と水泳部が全国大会へ進み、野球部は夏の全国高等学校選手権大会愛知県予選でベスト 32、秋の県大会ではベスト 16 まで勝ち上がりました。文化部では放送部と美術部が全国大会へ、SSH生物部は中部地区の高校 44 件の応募があった愛知工業大学主催「A I Tサイエンス大賞」ものづくり部門で最優秀賞を受賞しました。研究内容は「時習館のユリノキ染め」です。

生活面では女子生徒の制服に初めてスラックスが導入されました。また、愛知県知事により高校生のコロナワクチンの集団接種が進められ、本校の生徒も希望者が近くの豊橋市保健所で接種することができました。施設面では本館棟の改修工事が行われました。7月末に職員室から始まり、学年ごとに職員室が分かかれ、11月には元の職員室に戻ることができました。照明は LED 化し、大きな書棚も置かれるようになりました。



本館棟改修工事の様子（外観）

○ 同窓会本部より（令和3年度）

同窓会本部としては、令和3年5月に三役会、理事会、総会が行われました。感染症拡大防止の観点から出席者を限定せざるを得ず、また懇親会は実施しませんでした。一年前の卒業 50 周年の時習 22 回生、卒業 25 周年の時習 47 回生、該当年の同 23 回生、同 48 回生がお祝いを受けました。国際交流基金としてご寄付いただき、ありがとうございました。この会報が届く令和4年5月ごろには同 24 回生、同 49 回生が無事にお祝いとなるよう祈念します。

8月には関西支部事務局長の伊藤忠男氏が本校を訪れ、東京オリンピック女子マラソンに出場する鈴木亜由子選手（時習 62 回）の応援の様子を熱く話されました。その後、同窓会長小池高弘氏とともに亜由子選手のご実家を訪れ、激励金を渡し

ていただきました。亜由子選手はレース後、お父様とともに本校に挨拶に来られ、応援に感謝し、次のレースのためにトレーニングを積んでいくことを報告されました。



コロナ禍で行われた本部同窓会総会
(令和3年5月)

○ 本館棟改修工事が出てきたもの

先にも触れたこの工事の関係で、いろいろな部屋で担当教員がそれぞれ整理整頓をしてきました。そうしたら、いろんなものが出てくる、出てくる。驚きの連続でした。生徒指導室からは開かずの木製アレンジャーを発見！用務員さんがハンマーで叩いて取り出したところ、昭和 38 年度生徒議会議事録、愛大安保反対ビラ、1970 年時習館民主化闘争委員会ビラ、などが入っていました。学生運動が盛んだったのですね。当時の方（時習 22 回生）に伺ったところ、生徒部の先生が生徒をよく取り締まっていたそうです。私は日本史の教員であるため、これらの学校資料には関心が高く、私の勝手な判断でこれらの資料の保存を決めました。校内のある部屋にひっそりと保管してありますが、その先は…。これらから感じたことは、時習館には「生徒の文化」が確実にあった、ということです。

○ 校風について考えてみます

校風に関する本は意外と少なく、本校図書館で発見した武良竜彦著『いまなぜ「校風」か』（ダイヤモンド社）が一番詳しいようです。平成2年の発刊ですので、今から 30 年以上前の本になります。その中で教育の定義を「ミーム（文化遺伝子）」というものの社会的な継承」とし、「学校教育にあたっては、教育理念に基づく制度文化・教師文化・生徒文化とよばれる『校風』が、生徒の人格形成

に大きな影響を与える」と書かれています。そして「創造性とか個性というものは、生徒が自分でつくる文化の中でこそ育つものであって、制度文化や教師文化からの制約や手出しが強かったり多かったですると、生徒の創造性や個性は育たず、やがて校風も死ぬという関係にある」とあります。

○ 人格形成に役立つ自由の尊重

今頃になって気が付いたことがあります。第10代校長熊谷三郎先生の教えでもある本校の教育目標「自ら考え 自ら成す」についてです。毎年この誌面で取り上げてきましたが、これには前提(そもそも論)がある気がしてきました。それは、人は「自由」の下にいないと考えることそのものが難しいのではないか、ということです。

私が在学した平成一桁代は「自由」を尊重する雰囲気はありました。自主的に動くのも動かないのも自由。でも動くといいことがあるよね、というもの。同級生もただ勉強できる生徒が尊敬の対象ではなく、勉強以外の部活等でも活躍していて初めて尊敬される感じがありました。学校行事の盛り上がりもすごかったですね。生徒自らが考えて、学校行事を作り上げていった。部活動に邁進した。とにかく青春でしたね。そして、受験への切り替えもすごかったです。こういったことも含めて、先輩から受け継いだ伝統を大切に受け継ぎ、後輩に渡していくこと、これも確実にありました。だから、本校の同窓会の繋がりは強いと思います。

「時習館で学んだよね？」という雰囲気です。「自ら考え 自ら成す」の前提となる「自由な校風」は、その人を思考に向かわせる、いわば人格形成に他なりません。だから「自ら成す」、つまり行動が違って来る。先輩方がスケールの大きい方ばかりなのはこのためです。社会的地位はさることながら、思考の仕方が、実践がひと味違う。「自由な校風」があったからこそ、(先の本の中にあったように)生徒が自分で文化をつくり、創造性や個性が育ったものだと考えます。先生方も個性派でしたね。

○ ウィズコロナ時代の時習館

果たして今の本校がその「自由」を担保できているのか、というところも怪しいかもしれません。コロナのせいもありますが、それ以外でも教員の指示

が多くなってきているのを感じるからです。コロナ前を知っている生徒は今年3月で卒業、教員もコロナ前の時習館を知る者が年々少なくなっています。つまりコロナ前の本校でのさまざまな取り組みを知る現役の生徒は存在せず、教員も少なくなっていく。もう一度時習館を作っていくことになりそうです。その時に「生徒の文化」「自由な校風」を継承できるのか。そして時習館の生徒は、そして教員は、時習館にいる者としての「矜持」まで到達できるのか。そんなことを考える日々です。

○ そして出合った運命の一冊

私は最近あるもう一つの本に出会いました。熊谷先生のご著書『竹林の夢』(昭和49年)です。本校図書館の書庫に保存されています。その一節をご紹介します。

「自ら考え 自ら成す」ことの出来る人間を育成することは、容易ではない。この課題の解決はどうあるべきか。(中略)考える親のもとでなければ考える子は育まれないし、考える教師なくして



第10代校長熊谷三郎先生が寄贈されたご著書『竹林の夢』(昭和49年)

ご本人の写真と直筆のサインが見える

考える生徒の育成は期待されない。この意味において、教師は常に自分自身の未完成を意識し、教育の事にいそしむはもちろん、日々の自己研修、生活のあり方にも課題を持ち、積極的に問題解決に立ち向かって意欲を燃やす、考える教師、実践する教師への修業が大切になってくる。」とあります。

熊谷先生が校長として本校に赴任したのが43歳。私は今年同じ歳になります。熊谷先生の在職中とは時代が随分異なりますし、力量も随分異なりますが、時習館を作っていく一人の教員として、「考える教師、実践する教師」であり続けたいと思います。

会員便り

旅立ち



会員だより



「蜀」の風情

尾野 あつ子（時習8）



○ やっと念願叶う

中国の武漢でコロナウイルスが発現する4カ月前（2019年10月10日）、かねてより一度見ておきたい中国南西部に行ってきました。

中国南西部の観光メッカ、四川省、九寨溝、黄龍と四川ジャイアントパンダ、その生息地と環境など（ユネスコ世界遺産）、もう一つの目的は可憐な高山植物「天上の妖精」と呼ばれている「ヒマラヤのアオイケシ」の咲く自然環境です。

壮大な草原にびっくり、開花は6月ごろで花は咲き終わっていましたが、草原のいたるところ



六月ならばこんな美しい花が見られたのですが
アオイケシの花

に花の名残をとどめた枯れ木がたたずんでおり納得でした。

○ 恵まれた地「天府の国」

昔から肥沃な土地に恵まれた四川省は「天府の国」と呼ばれてきました。

成都より二昼夜かけての旅の途中、こんな話を聞きました。農産物や森林資源が豊かであらゆる休憩所で農産物などを観光客に売っており、日本人観光客が「安い安い」と言うのでだんだん価格が上がっているとか…。地元のガイドさんが言う

には「原価は山の恵みでタダなのに、こんなに値が高くなっている、良いのだろうか」と。

ホテル以外はトイレが大変。扉無し、前後の低い仕切りのみ。足元は一本の溝だけです。時間が来たら水を流す方式。手洗所なしで「お手拭きタオルはどこに」。あたりをきょろきょろして見渡すと、一元（105円）でトイレ入り口に立って売っていました。これ、今の中国では、一般的だとのこと。これも自然のままか、驚きの連続です。



四川省「天府の国」を視る

○ 大陸の気風に触れて

この地域、年中温暖で平均気温 15°~16°で、漢族が中心で主にチベット族、チャン族。民族文化はそれぞれが特色を持っています。民族観光資源として有効に活用し、豊かで多彩なものを産み出しています。言葉が通じなくても、多くの人と出会い、笑顔で「シェイシェイ」でOK、おおらかな人懐こさは大陸ならこそかも知れませんね。

○ ジャイアントパンダの生息地

目的地の途中、臥龍、四姑娘山、夾金山でパンダの研究所があり立ち寄りました。この地に100

頭を超えるパンダが自然に生息しているそうです(世界の30%が野生)。子どものパンダが自然環境の中で遊ぶ姿、非常に幸せそうに見えました。ゴロゴロと広い草原で戯れて連なっているのを見ると、東京・上野動物園で昨年6月に生まれた双子のパンダ「シャオシャオ」と「レイレイ」と、つい比較してしまいます。



木登りで戯れるパンダ
思わずシャッターを押す

○ 目的地九寨溝、黄龍

原生林が生い茂った溪谷に大小118余りの湖沼や瀑布が点在する景勝地です。二カ所あり二日がかりの観光でした。チベット族の村が九つあったので九寨溝と名付けたとか、青と白の幻想的な世界が数珠のように連なり、木々の根本を浸しながら流れ下る湖底、そこは100%透けて美しい青と白の世界です。4～5年前大地震に見舞われ壊滅状態になったそうですが、さすが世界遺産、立派に修復され、今その残影はありません。



九寨溝の美しい沼

二日目は4000m級の山の中腹、酸素ボンベ1本持参で、2000mまでゴンドラで登り、帰りは一気に下るのみ、82歳の私は最後になってしまいま

したが、途中、言葉では表現できない「圧倒的な風景」に酔いしれ、夢の中にいるような錯覚に包まれていました。写真を撮るのも忘れ、脳裏に「心の財産」として納めています。本当に素晴らしい風景に出会い、四川の風情を満喫出来ました。

○ 歴史と文化の町「成都」

成都是美しい水の都、その水源は九寨溝より賄われています。落ち着いた静かな都です。



水の都「成都」

成都の郊外に建っている武侯祠は三国志時代の蜀、漢の諸葛孔明、劉備玄德の像が安置されています。劉備玄德の壮大なお墓に参ってきました。見応えのある所、今でも民衆に慕われていることが良くわかります。唐の詩人杜甫が西暦759年、長安から成都に移り草堂を建て、4年間で240余りの詩を作ったと所とか。杜甫の詩は今でもよく詠まれますので、興味深かったです。地元の中国でも杜甫を偲ぶ参観者が絶えず、唐詩の世界を楽しんでいるようです。

○ 旅のアトラクション

本場の川劇、変面など伝統的な舞台も見学できたのですが、疲れていて居眠りばかり。面白かったはずですが記憶にあまりないのが残念です。

最後は四川料理代表格の「麻婆豆腐」、辛いと覚悟していたのですが、日本人向きにしていたのかそれほどでもなく濃厚な味でしたね。同じアジアの国、親しみを感じつつ、蜀の風情を心行くまで楽しんだ中国南西部の旅でした。



比較言語学あれこれ

～ ネパール、インドの女性と語らって ～

菅原 民生 (時習 10)



私の専門は数学ですが、かねてより語学が好きで縁あって外国人に日本語を教えています。ネパール、インドの女性との交流の経験から比較言語学に興味を持ちいろいろと調べていますので、一部を紹介します。

○ 第一章 これが印欧語族か

私は京都府木津川市に住んでいます、地元の日本語教室の指導に慣れたので 2014 年の夏、隣の日本語教室にも参加してみました。そのときネパールの女性を紹介されました。彼女は京都のホテルのベッドメイキングの仕事をしていましたが、日本語は「あいうえお」から教える必要がありました。英語はほとんど分からず、こちらもネパール語は全く知らないで、初めは顔を見合わせて笑っているだけでした。日本語とネパール語の不完全な辞書らしいものはありましたが、わずかに例文が載っている程度で、ほとんど役に立ちませんでした。

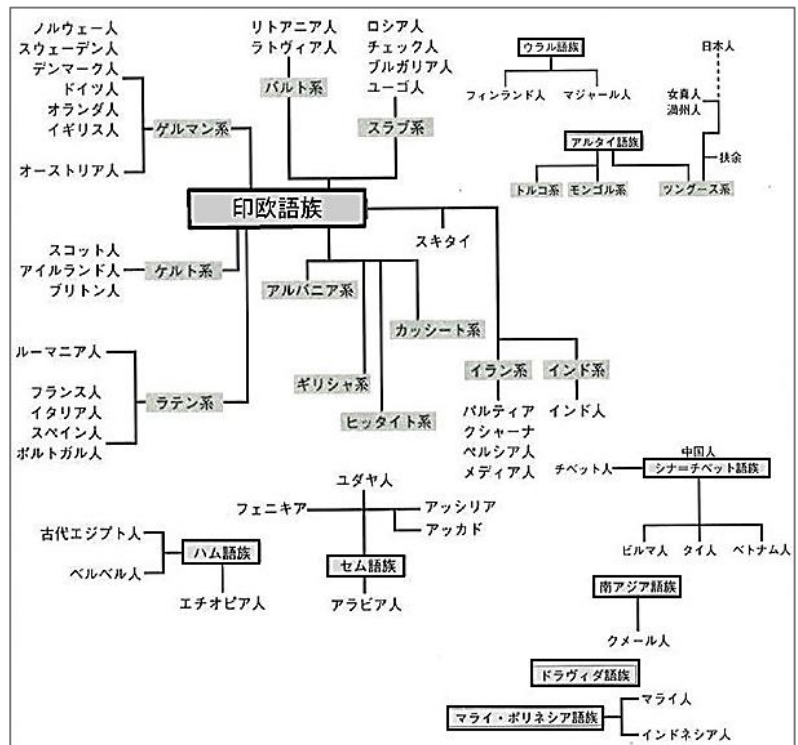
たまたま応援で来られていたネパールで JICA の仕事をしていたことがある方が、スマホで Google の辞書が使えることを教えてくださり、やっと意思の疎通がはかれるようになりました。秋になってインドの女性に加わり、二人を一緒に教えることになりました。どちらも近鉄で通っているの、二人に共通の「近鉄で京都へ行くには…」という話題で「竹田駅で地下鉄に乗り換えます」が説明したくなりました。

しかし…ネパールには鉄道というものがない。

subway, tube, metro どれも通じなかったのですが underground でインドの女性の顔がぱつと輝きました。ロンドンの地下鉄が通じたのです。そう言えばイギリスとインドは東インド会社でつながっていたことを思い出しました。

ここで思いがけないことが起こりました。インドの女性から説明を受けたネパールの女性が嬉しそうに頷いているのです。「ちょっと待て。君たち何語で話しているの?」

インドの女性はヒンディ語、ネパールの女性はネパール語で、何とか会話ができましたと言いました。調べてみたら、どちらもデーバナーガリーという文字を使い、発音もほぼ同じ。さらに 1 から 10 までの呼称を比べてみたら、ほとんど同じであるば



世界の語族の分類

『言語が違えば、世界も違って見えるわけ』
(ガイ・ドイッチャー著) より

かりか、フランス語とも似ていたのです。「印欧語族」ってこのことだったのか!!

ネパール語の話者にヒンディ語は容易にわかるが、ヒンディ語の話者にはネパール語は難しいこともわかりました。日本語も東北の人に東京の言葉は聞きやすいが、東京の人に東北弁はわかりにくい、まあそんな事情と似ているのでしょう。

○ 第二章 サンスクリット研究の歴史

1772年、ウォーレン・ヘースティングズが東インド会社の取締役会の決定に基づき、初代ベンガル総督に就任しました。

彼は「われわれが目指すべきインド統治の方針は、できる限り古代インド以来のインドの習慣と制度に従いつつ、われわれの法律をインド人の生活、社会、国家の諸問題に適用すること」と述べていますが、実際には東インド会社の社員で当時のインドの生活、社会に精通している者はほとんどおらず、イギリスは独自にインドの慣習に従った諸制度の改革を実施することとなりました。

法体系を整備するに当たり、ヘースティングズは1776年にヒンドゥ法典編纂委員会を創設し、サンスクリットで綴られていたさまざまな判例を一つずつ調査する膨大な翻訳作業を始めました。これを契機にヒンドゥとムスリムがインド国内で明確に区別されるようになり、イギリスで東洋学研究が始まりました。

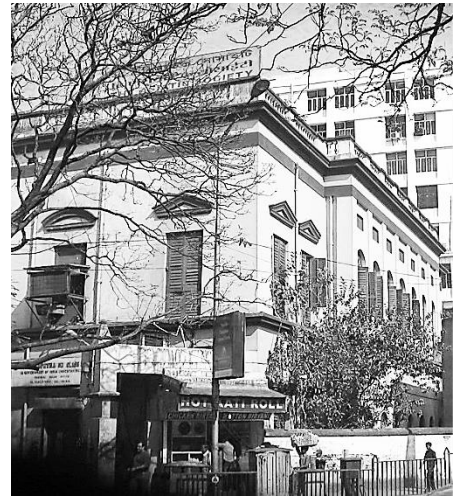
イギリスの裁判官ウィリアム・ジョーンズはインド・カルカッタに赴任すると、すぐにベンガル・アジア協会を設立して、そこの長官に就任しました。

・失われた言語に思いを馳せる

1786年2月、彼は自分の発見を次のように語りました。「サンスクリットはギリシャ語ともラテン語とも似ているが、語彙の豊かさ、文法の詳しさにおいて、そのどちらよりも精巧にできている。これら三者は、今は消えてしまったかもしれない言語の共通の子孫ではないだろうか」。

この報告は東インド会社に雇用された学者の研究成果を発表するベンガル・アジア協会の1789年の会誌に掲載され、ヨーロッパの人々の知るところとなり

ました。この時期、インドはムガル帝国で、公用語はペルシア語でした。しかしジョーンズはペルシア語を通じて



ベンガル・アジア協会

ではなく、直接サンスクリットを調べています。

ムガル帝国の第5代皇帝シャー・ジャハーンは、亡くなった王妃ムムターズ・マハルのために壮麗な霊廟タージ・マハルを造りました（1653年竣工）。



タージ・マハル寺院

インドでは18世紀に入ると地方の豊かな豪族は租税を納めず、私財を貯めて力をつけ次々と独立していき、ムガル帝国の王権は次第に弱くなりました。1857年大規模な反英闘争、いわゆる「インド大反乱」が起きました。82歳の第17代皇帝バハドゥール・シャー2世を反乱軍の総指揮官として戦いましたが、9月デリーが占領されるとあっさりと降伏、ここにムガル帝国は332年の歴史を閉じてしまったのでした。

・比較言語学事始め

ジョーンズの「サンスクリットはギリシャ語や

ラテン語とともに、ある言語の共通の子孫であろう」という予想のその後の研究は、19世紀のドイツに引き継がれました。「比較言語学」はフランツ・ボップ（後にベルリン大学教授）、ラスムス・ラスク（デンマーク人。後にコペンハーゲン大学教授）、ヤーコブ・グリム（グリム童話で名高いグリム兄弟の兄）の三人から始まったとされました。三人はジョーンズの予想の発表の後に生まれて、年齢もほぼ同じです。フランツ・ボップの著書が発行された1816年は「比較言語学」が始まった年と言われています。

ジョーンズの発見に「インド・ヨーロッパ語族（印欧語族）」と名付けたのは1813年、イギリスの言語学者トマス・ヤングでした。彼は光の三原色（赤、青、緑を混ぜると白色光が得られる）、エネルギーの概念とその命名、ゴムやバネの弾性体の基本定数ヤング率に名を残す物理学者でもあります。また言語学者としては、ロゼッタ石のギリシャ文字からヒエログリフと



言語学者：ウィリアム・ジョーンズ

モティックをフランスのシャンポリオンが1822年ごろ解読した時、激しい先陣争いを演じたライバルでもありました。

○ 第三章 屈折語、膠着語、孤立語

言語学には屈折語、膠着語、孤立語という言葉がありますが、これは世界の言語を形態的類型論を用いて分類する一つの方法であり、印欧語族を分類する過程で確立されました。印欧語族はほぼ屈折語に属し、日本語は膠着語、中国語は孤立語に分類されます。それぞれの特徴を見ていきましょう。

・屈折語 (fusional language) について

名詞は性（男性、女性、中性）、数（単数、複数）、格などが変化して、修飾する形容詞もそれに対応して変化します。動詞も主語に応じて、また時制（現在、未来、過去）、能動態か受動態かなどに従って影響を受けます。ただし、実際には屈折語の多くが膠着語・孤立語などの特徴を併せ持っていると考えられています。

英語では時代が下るとともに屈折的特徴が失われて、印欧語族の特徴である動詞の屈折語尾はほとんど失われ、直説法能動態現在単数三人称に -s がつくのみです。名詞では格の区別が失われ、所有を表す 's を伴う形が残っています。

屈折語の語順は SVO です。

・膠着語 (agglutinative language) について

膠着語とは例えば日本語の「飛ぶ」という動詞だと tob という語幹に、tob anai:「飛ばない」、tob imasu:「飛びます」、tob eba:「飛ばば」、tob ou:「飛ばう」のように語尾を付着させて変化させるものをいいます。日本語、朝鮮語のほかにはテュルク諸語（トルコ語、ウイグル語、ウズベク語）、ツングース諸語（モンゴル語、満州語）、ウラル諸語（フィンランド語、ハンガリー語）などがあります。語順は SOV です。

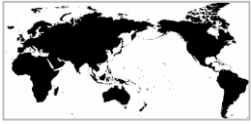
・最後に孤立語 (isolated language) について

接辞などの形態論的手段を全く用いず、1語が1形態素に対応する言語です。例えばシナ・チベット語族（中国語、チベット語、ビルマ語）、ベトナム語、ラオス語、タイ語、クメール語などです。

地味な印象を与えやすい比較言語学ですが、調べていくと意外な面白さがあります。皆さんはどんな感想をお持ちでしょうか。

（第二章と第三章の一部および写真は Wikipedia を参照しています）

会員だより



スリリングな我が航海誌（その6）

宇部港～スンダ海峡経由～Richards bay～宇部港～
ファンデフカ海峡経由～Vancouver～ウニマク水道経由～宇部港



成田 一郎（時習 10）



○ 甲板部・機関部共同就労

「スリリングな我が航海誌」という標題で6回目を書くことになった。題に沿うような経験を紹介すると、海上生活は危険が一杯と誤解されないかと気がかりだが…。

さて、スリリングな経験として... 船長としては1隻目は重量物運搬船で2隻目の「山陽丸」（総トン数5万ト）、機関長は昇進して最初の船だ。同船は中国電力向け石炭を Australia、South Africa、Canada から運送する目的で建造され、揚げ積み港の事情に合わせ船幅を広く喫水を浅くした石炭運搬船で、乗組員は「たらい船」と言っていた。乗船1986年9月29日～下船1987年3月10日。

（注・文中の写真は山陽丸ではありません）

船員制度近代化の過程にあって、日本人少数定員での運航実証実験船に指定され甲板部と機関部が別々の作業をするのではなく、毎日の船内作業は機関長がまとめて実施する体制で運航することとなる。例えば、00:00～04:00、12:00～16:00のゼロヨンwatch（船橋当直）は通常船は二等航海士であるが、二等機関士（以下 二機士）が担当、操舵担当は甲板部員という組み合わせとなる。二機士が操舵号令を、甲板部経験を持つ甲板部員が号令に従って舵をとることとなる。

船長としては船位を正確に把握できるか、衝突しないか緊張する。機関関係では甲板部員が機関運転・整備に加わることで機関長も心安らかではない。

宇部港を出港し、Richards Bay, South Africa 28-47'S 32-05'E に向かう。到着までの長い行程、病人・負傷者が出て適切な寄港先はないので無

事な航海を祈る。

愛媛県佐田岬南で内海水先人が下船、翌日は甲板上の石炭除去の大掃除と火災・総短艇操練。夕食は新乗船者の歓迎パーティー、酒は免税で安い。飲み過ぎの飲酒運転は厳禁！ Engine は Bridge control として機関室は無人とするが機器の異常とかの事態がないように祈るのみ。

二機士には、他船を早めに避け、沿岸では針路を真横に変えて何分間進んでも安全かを考えて操船し、状況によっては反転して船長を呼ぶように指示する。船橋の様子を覗くと二機士は遠慮がちに操舵担当者に号令している。操舵担当の甲板部員がそれとなく号令を出すように誘導している雰囲気だ。10月の内地は秋で快適であるが南下とともに暑くなり夏服着用となる。

○ スンダ海峡通過

幸い平穏な航海が続き、赤道を通過、航海が長く定員の多かったころは赤道祭りをする事もあったが、このところは何もナシ。Indonesia Sumatra 島と Java 島間の Sunda strait（スンダ海峡）に入る。海峡の海流が激しく Speed の変化、船位のずれが著しいので自動操舵を手動に切り替えて緊張しながらの操船である。幸いスコールの来襲はなく視界は良好、入社し



たころはマナーが厳しく船橋へは甲板関係者以外は入らなかったが、今は入りやすい雰囲気です。船橋脇の Wing では Indonesia Jakarta へ行ったことのある連中が賑やかに談笑している。

難所の一つこの海峡を無事通過、広大なインド洋へ。Richards Bay まで大洋航海となり行き交う船も少なく平穏な航海となる。整備作業は甲板部・機関部合同で行う。高所の塗装作業は機関部員は苦手、甲板部員は機器の整備にネジを力任せに締め過ぎるとか…Tea time は相互理解の時間となる。

○ Richards Bay, South Africa 28-47' S 32-05'

Richards Bay に接近、同港は世界最大級の石炭積み出し港である。船長としての 5 万トンの巨大船の投錨は初めてなので早めに stand by engine 減速、港境進入時刻を登録、原則としてこの時刻順に着岸することとなる。防波堤の入り口にはやや遠いが他船の少ない場所を選び投錨。

2 日ほど着岸待ちの見込みとなり、機関長はこの機会に自己の経験と海技の伝承のため Main engine の整備をしたいと漏らす。長期の整備計画ではまだその必要はない、船長としては甲・機混成メンバーで着岸時まで完全に復旧可能か不安、港内錨泊中に一時的に Dead ship となる許可取得も難しそうなので通常の整備作業と積み荷計画の確認で着岸を待つこととする。

夜間は錨当直の他、一等機関士(以下 一機士)が時々 Engine room の状況を確認。石炭の積み地はどこも市街からは遠く、夜は Yard の照明が見えるだけで上陸希望の雰囲気は希薄。着岸したら代理店が郵便物を届けてくれるが、家族から便りの有る者、無い者、時には不幸な便りも届く。

乗組員に給与の明細を渡すときは気楽だが郵便物を渡すときは良い知らせであって欲しい。

着岸、順調に積荷開始となったので、乗組員数人とタクシーで Seamens club に往く。

Club では外国船員が談話室でレコードを聴いたり読書したりしていたが日本人は我々だけ。書架に雑誌と小説本、聖書、売店には衣類、絵はが

き、民芸品等があつて木彫りの民芸人形を買って、club の女性にタクシーを依頼して運転手に Berth No. を告げたら場所は分かったとのことで一安心。真っ暗で荒涼とした大地の道を行き交う車も無く無事帰船。



Richards Bay Coal Terminal の石炭積み下ろし



石炭を積荷中の石炭運搬船

積み荷無事完了、喫水も計算通りでホッと、離岸。Tug boat を放し水先人下船、港の出口までは船長が操船して行けとのこと。5 万トンの船に石炭を満載。往航の Ballast 航海と異なり船体はグッと重くなる、舵を切ってもなかなか回頭しないし、回頭し出したら早めに当て舵をとらないと頭を振りすぎてしまう。着岸中の他船が揺れないように Slow speed で港外へ。揚げ地は山口県宇部港、日本向けの航海は Home speed とか Engine の回転音も快い、沿岸航海に入る 2 日前に下船者の Farewell party (焼き肉とカラオケ)。船長としては日本が近づくにつれ行き交い船・漁船が多くなり、しばしば針路の変更もあり、気が休まらない。

○ 漁船がいっぱい！

宇部入港前日深夜、豊後水道を北上中、夜中に船橋の二機士からインターフォンで呼び出しあり、「前方に漁船が多いので回頭中です!!」佐田岬の手前で内海水先人を乗船させ以後着岸まで船橋に立ちっぱなしとなるので部屋で休んでいたが、急

いで登橋する。真っ暗な海に漁り火がいっぱい。暗闇に眼が慣れるまで、二機士に水ノ子島灯台の方位を読ませ、操舵手には船首の方位を逐一報告させ、通航できそうな方向を探る。

後方から同行する船は無かったので無事一回転して漁船の間を通過して水先人乗船地点に向かう。船長・機関長には就労時間の規定はない。機関長はまだ寝ているだろうに、船長は夜中に呼び起こされて操船だ。宇部で揚げ荷無事終了、事故も無く近代化実証実験も一応成功裏に終了。スリリングと言えるほどの航海ではなかった。

○ スリリングな冬季北太平洋

Canada Vancouver から宇部への石炭輸送と Sailing order 受領。海図その他必要品は確保してあるが、喫水を浅く船幅を広くしたこの船が何で冬季北太平洋航路かと思えど、行くしかない。

往航は空船のため船艙に海水を張っての Ballast 航海、房総半島沖から寒流親潮を避けてアリューシャン列島南方に向かって北上するに従って気温は下がり荒天となる。外は寒いし、船は揺れる、Engine の響きより風と波の音が勝る。仕事が終われば個室に帰り食堂で一杯やっている者もいなくなる。

○ Hatch cover に一大事！

北上し Aleutian 南方を航行中の日曜日、作業は minimize、夕食はステーキかな？ 横揺れが激しいので洋食は無理かなと思いつつ明るくなってきたので船橋に行くと操舵手が coffee を煎れてくれた。寒い朝の coffee は旨い。ここまではよし！

機関長が甲板上を一巡して船橋に上がって来たが表情が変だ。「Captain、hatch cover の固定ボルトか外れ 30 ㌘くらい右舷側に外れているのがある。cover の man hole の蓋が開いて ballast が溢れ出て減っている」とのこと。

張り上げた Ballast に自由水面があると Rolling で左右に移動する水が cover を下から打ち上げて危険だ。1 立法尺の海水は約 1 トン、幅広の艙内で大量の海水が cover を下から打ち上げて

いる。一等航海士 (以下 一航士) に「なぜ hatch cover の man hole を開いたか」と質すと「荒天の時に当該 hatch 付近で異常な音がする時があって、その時は man hole の蓋を開けると異常音が収まる」と引き継いだとのことである。

気圧は下がる傾向で天候は更に悪くなる。気温も下がり deck に氷が張ったら危険で作業ができないので当日 hatch cover を正位置に戻す作業を実行することとした。

機関長は船長の言うようにするしかない、という表情。一航士は man hole を開放した失策からダンマリ、甲板部員は荒天下での甲板上での作業の危険性を知っているのでこれまたダンマリ。Cock に食事の準備と tea time の用意を任せて総員復旧作業決行とする。回頭・減速して船首を波浪に向けたいが、このウネリの中で回頭中に横波を食らったら cover がなおずれてしまう危険があるので、船橋は船長一人で Radar、肉眼で見張りしながら操舵、機関長は transceiver で現場と船長との状況連絡と四囲の監視、一航士は現場での作業指揮とする。

多数の chain block を使い半日がかりで cover を移動用 rail 上まで引き上げ、午後は rail 上の移動が可能であることを確認してガッチリと cover を固定して ballast を張る。時化で夕食はご馳走ができなかったが作業を無事に終えたので船内の雰囲気は明るくなった。しかし復航は石炭満載で荒天の海域を航海することを考慮すると cover の水密度の確認が必要。

○ Juan de Fuca strait (ファンデフカ海峡) に到達

この海峡は Canada と米国との国境となっている。学生時代、遠洋航海実習の帆船「海王丸」で世界万博開催中の Seattle を訪れた時に通航した時のことが思い浮かぶ。

海峡内に入り波浪が無くなったので、ホースで cover の水密テスト、着岸の準備を行う。Port Angeles (48-06'8N 123-26'5W) で水先人乗船、Vancouver 着岸後 hatch cover は異常なく開き順調に積み荷。

手空きの乗組員 3 人と Vancouver 市街までタクシーで外出するが見物の時間的余裕はなく買い物をして帰船。大きなホテルの前でタクシーに乗る。ホテル前なら悪質ドライバーに遭わないだろうとの配慮。運転手はパキスタンから出稼ぎ？に来た男だったが、長距離を乗り前方に船が見えてきたら停車、ここで降りろという雰囲気。船の横まで行くと運賃を払わずに船に逃げ込まれるのを警戒している。「俺が船長だ、運賃は米ドルで払う」と\$紙幣と Seamens book を見せたら納得して船側まで進んだ。換算レートがよくわからなかったので少々ぼられた気がしたが「釣りは要らない。チップだ」と言って下車。

石炭満載し宇部港向け出港、往航は Aleutian 列島の南方を航行したが、復航は Unimak strait 経由 Aleutian 列島の北側 Bering 海を航行する。高緯度 (54-45'N) となり低温となるが冬季の低気圧の北側を航行してその中心に左巻きに吹き込む風波を船尾から追い風として利用する計画である。

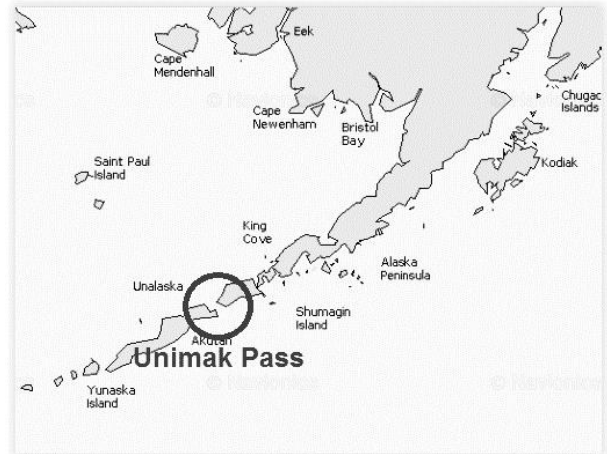
○ Short bunker ?

Juan de Fuca strait から太平洋に出て行き交う船が少なくなりホッとするが前方からの長大なウネリで船首方向を保つために当て舵を採ったままの航海となる。Vancouver は初めてという者が多く、土産に買った品が話題となる。民芸品の人形と家内に大きな Silver fox の襟巻きを買った、機関長は奮発してテンの高級な襟巻きを買った。

今ではどこでも売っているが当時としては Smoked salmon、数の子昆布、maple syrup 等を買った者が多かった。太平洋に出て 2 日めの昼食時、機関長が食欲無く口数が少ない。

「燃料の消費量がすごく多いのが心配です...宇部までの距離は (計画時と) 変わりませんか?」と言う。「帰路は最短距離に近い。冬季に北海道、Aleutian 列島付近を発達した低気圧が東進する、その中心に吹き込む風を追い風として利用する。三陸沖では親潮が順流となるコースにしている」と告げるが途中で燃料切れでの漂流を心配している。単位時間あたりの燃料消費量は速力のほぼ 3 乗に比例するので無理に engine の出力を上げな

いようにして Unimak pass (ウニマク水道) に向かう。



Unimak strait 航行中の船 (吉村幸久氏の作品)

○ Unimak strait

Unimak 島 (54-45'N 163-58'W)には Aleutian 列島の最高峰 Mount Shishaldin がある。同山は地球上で最も円錐に近い形をした氷河に覆われた山とのことである。幸い海峡通過は日中となり吹雪にも遭わず雪で真っ白な高山を見て通航、荒涼とした風景だ。水道の近くには Dutch Harbor がある。米国の軍港だから燃料が沢山あるだろうなと思いつつ通過。Bering 海に入り針路をほぼ真西に Aattu 島の北側に向かう。180° 経度線を通すが日付変更線は Aattu 島まで米国領なので同島の西方に在る。Aattu 島では 1943 年 5 月我が日本軍は 29 人が捕虜となったほかは、全員戦死、あるいは自決・玉砕している。

Aattu 島を通過後は北海道東岸を目指す。日付変更線を通す、日付を 1 日繰り返して船内時間を日本標準時+3 時間とする。千島列島の南方海域

を列島に沿って南西に向かい、北海道の南東岸の沿海を洗ってさらに三陸沖に南下する親潮を利用と目論む。

○ ここでまた難題！

日本海を東進する低気圧が猛烈に発達して大時化となる。ウネリも風も向かいから！一機士までもこの状態が続くと宇部までに燃料が無くなると言い出し tea time は燃料の残りが話題となる。他船が船の向きを判断するのに重要な灯火である前部マスト灯が消える、予備の灯火もダメ。マストは結氷で灯火の場所までは危険で登れず、やむなく無灯のまま極力他船に近づかないようにして航行。

明け方機関長が船橋に来た「fore castle (フォクスル=船首楼) に浸水しているが、配電板までは浸かっていない、しかし機器の使用に支障があるかもしれない」と言う。

往航は hatch cover をやられ、復航は fore castle かと思いつつ現場を見に行くと、ガッチリ捲き締めた係留索のカバーが流出、ドラムに堅く捲き締めた係留索もずれている。通風筒の基部が破損して浸水したことが判明。上下左右に激しく揺れ、波の衝撃音のする場所での排水作業、電気系統の点検等々、想定外の作業でみんなウンザリ。

悪い冗談とは思いつつ機関長に「燃料切れのため太平洋で漂流したらビッグニュースだ、社内では有名人になる。辞表を出すことになるのかな。速力を落とせば到着は遅れるがたどり着ける。最悪の場合は北海道沖か東京湾での補油もできる、なんとかなるよ」と言うがあまり反応はない。通常なら下船者の歓送会や乗船予定者の話題が出る時期だが緊張の続く日々である。

北海道東岸に近づくと海水温度は下がらない。期待した寒流親潮に乗っていないかも知れない。週末金曜日、本社燃料担当の課長に「大時化で燃料の残りが僅少、最悪の場合緊急に補油の手配をお願いするかも知れない」と連絡。休日緊急の場合は自宅へ連絡せよとの回答を得る。神戸支店勤務の時の部下だったので快く対応してくれホッと

三陸沖を南下、房総半島沖に達す。ここからは暖流黒潮の流域に入り向かいの潮となる。次の低気圧が接近して来るが紀伊半島の南方を通る気配で幸い風は追い風となる。途中での補油はせずに宇部港に直行、宇部到着時は、主機用の C 重油僅かと港内操船・補機用の A 重油を残す状態で着岸。

○ 表彰はチャラ！

入港手続き完了、すべての hatch cover は異常なく開き順調に揚げ荷開始。代理店員が「郵船の本社から届いた」と清酒を持って来たので本社に電話すると「Ballast line の瑕疵に対応、荒天の中で無事 cover 復旧したことに表彰をとの話が出たが、復航に燃料の件で心配させたので、表彰はチャラ、代わりに酒を届けた」ということであった。一航士は荷役開始で現場を離れられないので機関長に酒のことを告げに行くと不在、船を離れる時は必ず船長か一航士に告げるはずなのに代理店員と近くで宴会のできる場所の予約に出かけたとのこと。連日の緊張から一気に解放されて、歓送迎会を盛大にやることとなった由。宴会もいいが交代者の引き継ぎもしっかりやってほしい。本社から少数定員での運行状況確認に労務課員が来船するかと思ったがこれは無く在船者を最少にして手空きの者は交代で宴会に赴く。

我が家の愚妻に「北太平洋は大時化だったが今宇部に着いた」と電話したら「お疲れ様、休暇はいつから？」宴会では面会に来た新婚の奥さんが旦那の手を握って涙を流していたとのこと、留守中相当心配かけたのだと痛感する。

一機士からは、どのようにして航路を計画し、燃料切れの危機にどう対応したのかを機関長への昇進論文に纏めたいといろいろ質問あり。

国家試験の問題に、航路の選定、気象・海象、速力と燃料消費量、自由水面の影響等々出題されるが、大時化の大洋航海では多くの要因が複雑に影響し合うのでカンに頼る面も多い。船の運航は上位からの指揮・命令がパターンだが、船長・機関長ともにまだ執職経験が少なかったので忌憚なく発想・意見を交換でき航海を完了したということで Happy END!

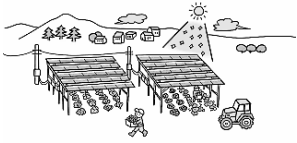
会員だより

営農型太陽光発電から地産地消の食へ

～71歳から神戸市シルバーカレッジで学ぶ～



近藤 洋（時習 13）



神戸市の高齢者大学・神戸市シルバーカレッジで71歳から6年間学ぶ機会があり後半3年間は生活環境コースで学習した。その最終学年のテーマとして「食とエネルギーの地産地消」を取り上げたのでその成果をまとめてみた。

共通テーマ」としては営農型太陽光発電（以下ソーラーシェアリングと称す）に関して調査し、神戸市北区「しあわせの村」にこれに適した場所が多い事を指摘した。

○ 神戸「しあわせの村」が学習に最適

テーマ選定の理由は、地球温暖化防止のため、食とエネルギーの地産地消で、海外からの輸送エネルギーの消費を削減し、双方の自給率を高める必要があると考えたためだ。

【食の地産地消】産地から消費地まで距離が短い地元の食材利用拡大の道を探った。神戸市立の小学校では全児童と教員に、地元の旬菜を使用した給食を提供しているという話を聞き、これをヒントに市立中学校の全生徒と教員に地元の食材を使用した給食の提供を提言した。

【エネルギーの地産地消】再生可能エネルギーの活用を、しあわせの村に範囲を絞って調査した。この結果、太陽光発電と水素エネルギーに適した場所を示し、地域で発電・消費が出来るようにすることを呼びかけた。「食とエネルギーの地産地消



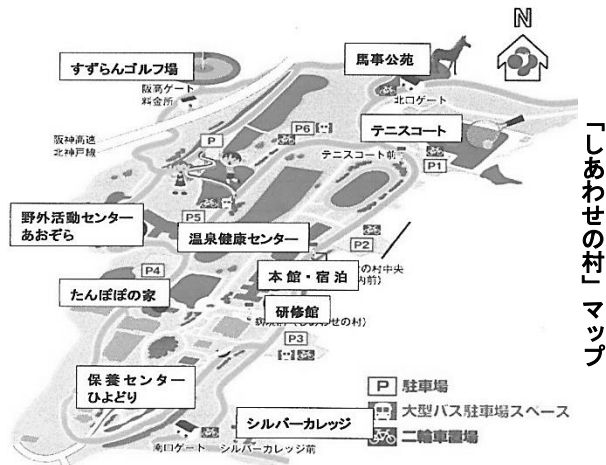
「しあわせの村」の営農型太陽光発電

○ ソーラーシェアリングとは

「営農型太陽光発電を知っているか」と聞くと、首をかしげる人がいるかも知れないが、「それではソーラーシェアリングはどうか」と聞くと、多くの人が「聞いたことはある」と答えるだろう。ソーラーシェアリングとは、地上高3m以上の架台の上に太陽光パネルを設置して、その下で従来通りの稲作や野菜、果樹の栽培などが出来るようにした技術である。

しかし、神戸市の農業者に聞くと「高額のようなので取り入れることは考えていない」との返事が多かった。イソップの話、キツネとブドウのエピソードを思い出した。キツネが高い所にあるブドウに飛びついても届かないので、あのブドウは酸っぱいと言ってその場を離れていく話である。

約10年前に関東の農業関係者が考案したソー



「しあわせの村」マップ

ソーラーリングの設備は、関東から東を中心に既に約 1500 設備以上が設置されている。2020 年時点で兵庫県では約 40 カ所で稼働しているものの、神戸市ではわずかに 1 カ所のみである。美味しいブドウを食べずに離れていくのは「もったいない」ことである。関西の人は保守的であると言われることがあり、食わず嫌いになりがちだが、ソーラーリングには次のような利点がある。

- ① 作業環境改善: 従来の直射日光下の過酷な作業環境が緩和される。
- ② 害虫、害鳥、害獣の防御=専用の防御用装置の設置が容易である。
- ③ 農業機械の自動化=電動の農業機械を直線状の支柱で利用すると自動化し易い。
- ④ 灌漑用水の節約と融雪促進=土壌水分の蒸発緩和と放射冷却緩和効果がある。

上記利点から、ソーラーリングは次世代に魅力ある農業をつなぐためにぜひ必要な技術と思う。

こうした知識をベースに神戸シルバー大学院に入学し、農業・林業・水産業を次世代に魅力ある産業としてつなぐためにできる事を研究テーマとして取り組むことにした。

○ 脱炭素社会のモデルづくり

2021 年 11 月に第 26 回気候変動枠組条約締約国会議 (COP26) で気候危機・脱炭素社会づくりについて、気温上昇を「1.5 度 C」以下に抑える努力目標が各国の達成しなければならない目標に前進した。そこで、「地産地消の食とエネルギー」の中で食については、有機栽培による野菜栽培を通じて「しあわせの村」を脱炭素社会づくりのモデルにすることに取り組むことにした。

神戸市の北部にある「しあわせの村」(205 ㍻) は、中心地の三宮から車で 25 分の場所にあり、東京ドームの 44 倍もある広大な総合福祉ゾーンである。この村には教育施設である神戸市シルバーカレッジ、商業施設であるレストランや食品販売施設、医療福祉施設である病院や福祉施設があり、これらの施設では、多くの食材や食品が取り扱われ消費されている。それらの食品や食材が、神戸

市産、兵庫県産、国内産、海外産のいずれかを地産地消の観点から調査したところ、期待したほどは導入されていなかった。その解決策の一環として、神戸シルバー大学院の保田学長が有機栽培の野菜を指導栽培している「しあわせの村農場」の栽培に参加することになった。

次のステップは有機栽培の野菜づくりを実践しながら「しあわせの村」を脱炭素の社会づくりのモデルに策定することで、関係先との折衝を始めた。

「耕せば動き、憩えば静かな土」の言葉があるが、現在の農業者は高齢化し、さまざまな難題が噴出している。耕さない土地が増加している問題を解決するためには、太陽・水・土の関連を見極めながら有機野菜作りを続ける方向が良いと思われる。食料自給率が高い淡路島でも 1 年間以上耕作されていない土地・耕作放棄地が増加し、兵庫県全体の増加傾向は歯止めの利かない状況である。



淡路島濱田ファーム



増え続ける耕作放棄地

その最大の原因は農林水産省資料によると「高齢化、労働力不足」であり、解決策を見出せていないが、農村の一人当たりの年収が 2 倍以上に成る施策があれば、新規の農業従事者を増加させることが可能となるだろう。

○ 神戸の食料自給率を高めるため

淡路島で調査したソーラーファームでは、ソーラーシェアリングを設置しタマネギ栽培を中心とする収入で、これのない場合に比べて約2倍以上の収入を得ることが出来たとの事であった。

こうした経緯を踏まえ、「地産地消の食」に関して神戸市と淡路島の3市では、2030年までに食料自給率を高めるには次項の案も有効と考える。

- ① この地域を食料に関する一つの脱炭素特別エリアとする。
- ② 地産地消の食料に関しては、消費税の50%を特別エリアの収入とする。
- ③ 前項収入は、消費者に還元する等、特別エリアに委ねる。
- ④ 神戸港から淡路島3市間に水素エネルギー駆動のフェリー航路を運航して、地産地消の食料運搬に限って無料とし、②項の特別エリアの収入で補填する。

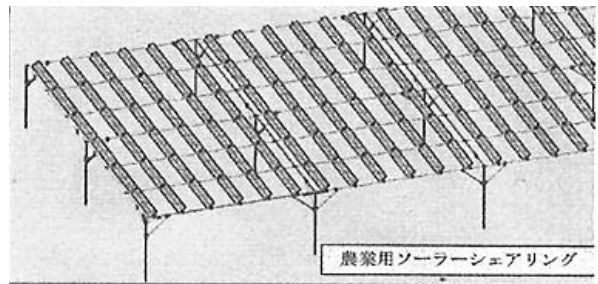
これらの案を打ち出したのは神戸市の食料自給率向上について、神戸市単独では50%以上にすることは難しいと判断したためだ。

一方、神戸市シルバーカレッジで聴講した講演で、人生100歳時代を迎えて80歳からは、人生のまとめをする時であるとの話があった。まとめをするほどの人生ではなかったが、これからは近くの小学校の「なかよし教室」の授業サポートを週1日しながら、「地産地消の食」が進むように週4日は「土を動かし」、身体的および知的な健康に心がけて日々過ごそうと計画を練っている。

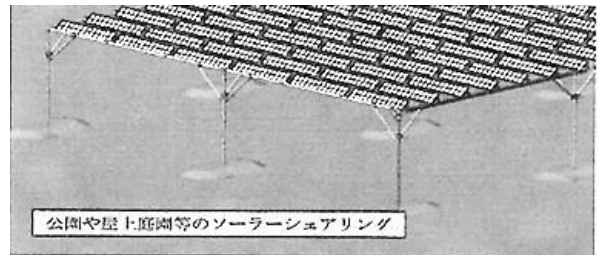
○ 提案3事例と子ども学習サポート

最後に、しあわせの村を脱炭素の社会づくりのモデル・エリアにするために、ソーラーシェアリングを設置することを提案した3事例と、「なかよし学級」の子どもたちと関わる中で感じていることについて書いてみよう。最初の事例は、遮光率が33%の営農型太陽光発電装置で、神戸市シルバーカレッジ園芸コースの農園に設置し、教育用に使用する。2例目は緑の広場の上に設置する遮光率50%のソーラーシェアリングであり、公園や屋

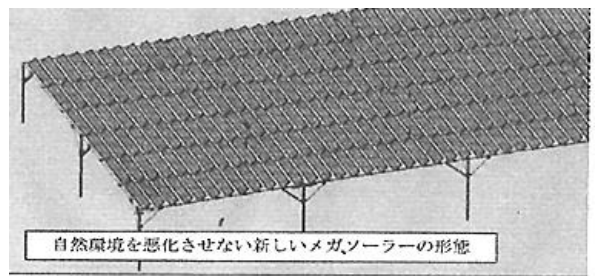
上庭園等の一部に設置することで、酷暑の季節でも高齢者等が楽しむことが出来るようにする。3例目は遮光率67%の自然環境を悪化させないメガソーラー形態である。



第1例：農業用ソーラーシェアリング



第2例：公園や屋上等ソーラーシェアリング



第3例：自然環境悪化を防ぐメガソーラー

私は自宅の菜園で有機栽培を続ける傍ら、近くの小学校の「なかよし学級」の授業サポートにも携わっている。その経験を通して、子どもたちに、より安全性の高い国産の減農薬野菜を提供できないかと考えている。

約10年前から日本の野菜輸入量が増加しており、食品の残留農薬の問題が気がかりである。次世代を担う子どもたちのために、良い仕組みができないものか頭を悩ませる今日このごろである。

○ 結びの言葉

「多様性のある社会」の実現を目指しつつ、COP26の目標を達成することは容易なことではないが、神戸シルバー大学院建学精神のことで結びとする。

「さらに学んで次世代のために」

会員だより



我が家のお正月準備を振り返って

米田 隆子（時習 21）

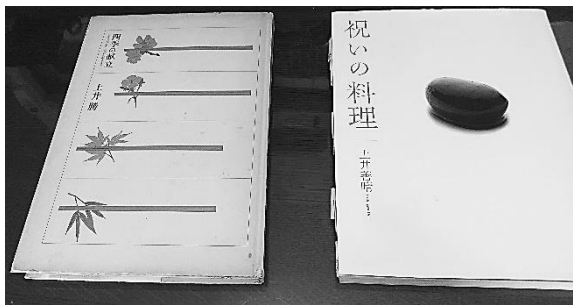


主人の転勤で、大阪に引っ越して 40 年余りが過ぎ、大きな世の中の変化と発展にただただ驚くばかりです。

そこで、とても身近なところですが、我が家のお正月準備を振り返ってみました。大阪に主人の実家があったことから転勤先に選んだものの当初は、あまりにも生活様式が違うことで随分戸惑いました。

まず話し言葉についての意味が分からないことには当惑しました。例えば「これ ほっといて!」「これ なおしといてね!」です。今でこそ毎日のように使っていますが、最初は考えても考えても分からない言葉ばかりでした。またアクセントも違い、大阪生まれの主人と言葉のニュアンスが違い、意見の相違が多々ありました。

料理の味付けにも戸惑いました。代表的なものが味噌汁の味噌、煮物の醤油です。豊橋にいたころは、イチビキの赤味噌 醤油を使い、濃い口か白醤油が多かったように思います。



よく利用した料理本

主婦が最も忙しい時と言えばお正月を迎える準備です。

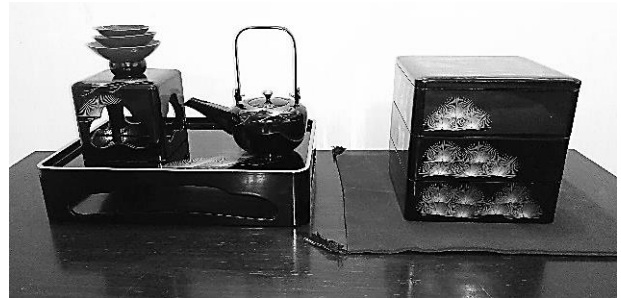
我が家は、お餅が大好きで餅つき器を購入し、鏡餅と丸餅（豊橋時代は、のし餅）とあん餅を作り、12月30日には、実家と子どもの家の分まで作りました。ベランダに並べた大小の鏡餅は年末ならではの光景で、和菓子屋さんの店先で見るとのミニ版のようでした。

お餅の準備が出来たら、おせち料理です。転勤当初は主人の母が作るおせち料理を一品一品教わ

りながら重箱に詰めていました。

豊橋の実家とは、お煮しめも違い、随分手間をかけ、丁寧で出汁の取り方 野菜の切り方などお正月のお煮しめならではのことでした。

重箱に詰めたおせち料理は豪華で綺麗。日ごろ、食事の支度で忙しい主婦をお正月の三が日だけは毎日の労力を軽減してくれるとの話もありました。



正月料理を詰める重箱と屠蘇セット

時間と手間のかかる黒豆、昆布巻き、棒鱈等もつくりました。

商店街の近くの市場へ行き、店の人と相談しながら材料を選びました。何時間もかけて夢中で作ったおせち料理は、とても貴重なものでした。

今では真空パックに入ったものが売られていますし、YouTubeなどでは作り方も学べますが、さまざまな労力を費やした事が 40 年余りを経た今では、私にとっては楽しい思い出となっています。

現代では、どの分野でもグーグルなどを見てたくさんのかんことを学べます。当時では考えられないような年末のおせち料理を揃え準備することができます。

振り返ってみて、忙しい思いやあくせくしたことなども楽しい、そして懐かしい思い出に代わり、家族の健康を守れたのも「そのお陰かな!」と思っています。

今や世界中がコロナ禍にありオミクロン株の繁殖力の猛威は留まるどころがありませんが、三密を守り、衛生管理に気をつけ、そして、一日も早く、コロナが収束するように願っています。

会員だより



遊行期 友とするのは 五七五



山崎 達彦 (時習 15)

10年ほど前、現役を退くタイミングで一眼レフ(「ニコンD60」)を購入しました。カメラを肩に吟行でも…という思いからです。とはいうものの、俳句の世界に足を踏み入れたことなど全くなく、たった17文字という安易な気持ちがあったのかも知れません。

生駒山系を歩いた時の初めての俳句が、「生駒越え落ち葉踏む音一列に」です。新聞社時代の先輩に俳句の達人がいて、その方に写真を添えてその句を送りました。先輩の評は、「悪くはないけど…。山崎君、川柳をやってみてはどうかな?」というものでした。同じ17文字の文芸とはいえ、「自然(花鳥風月)を詠む俳句より、人間を詠む川柳の方が向いている」とのご託宣だったわけです。そんな次第で、70歳にして川柳に取り組むことになりました。

同じ頃、東大寺二月堂の内陣で『お水取り』(達陀くだったん)の行を見る機会を得ました。8人の僧が下駄の音を響かせながら堂内を走り回ります。クライマックスは、「火天」と呼ばれる僧が大松明を堂内で振りかざします。「お水取り」といいながら、まるで炎の祭典です。

真っ暗な、そして狭い堂内に拝観者が数十人。ソーシャルディスタンスなんて全く気にしていない時代ですから、誰一人マスクなんかも着けていませんでした。午前3時ごろ、ホテルに戻って風呂で温まりましたが、鼻の穴の中まで煤で真っ黒だった記憶が鮮明に残っています。

その興奮がまだ冷めやらぬ時、朝日新聞の川柳・投稿欄「朝日なにわ柳壇」が目にとまりました。課題は、なんと『時代』です。即座に一句、<達陀の響き千年お水取り>が出来上がりました。早速投稿したところ、正にビギナーズラック。初投稿で初入選となった次第です。そ

れに気をよくして足掛け8年、「朝日なにわ柳壇」への投稿が続き、一昨年末には、64句にのぼりました。「こうなりや、77歳・77句入選を!!」とばかりに、勝手な目標を掲げたところ、見事達成することができました。ゴルフでいうところの“エージシュート”達成とばかりに喜んでいきます。

この間、年間ベスト10ともいえる「今年の十秀」にも四回選ばれました。

<一億と暗い時代が結びつく> (2015年)

←安倍政権の一億総活躍

<大人ってなぜありのまま言えないの> (2018年) ←森友学園問題

<ぶつかってはね返された父の壁> (2020年)

←課題「壁」

<賑わいがええものと知る戎橋> (2021年)

←課題「賑わう」

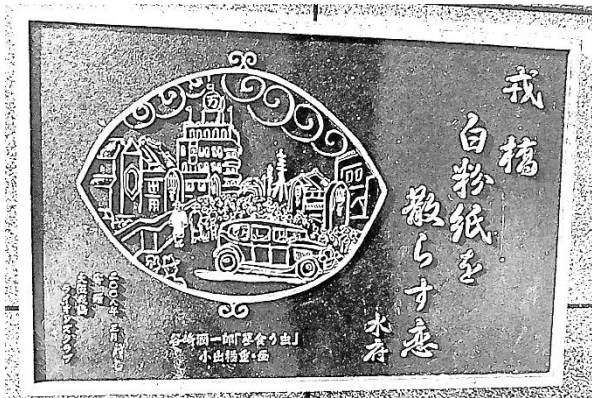
川柳近代化の立役者=岸本水府の作品が、大阪ミナミ・道頓堀界隈に句碑や銘板となって残っています。



戎橋の欄干 (南東側)

戎橋の欄干(南東側)に嵌め込まれた銘板には、水府の作品=<友だちは良いものとする戎ばし>、<大阪はよいところなり橋の雨>が刻

まれています。また北西側の欄干には、水府の句く戒橋白粉紙を散らす恋と並んで、小出檜重画伯の画（谷崎潤一郎「蓼食う虫」の挿絵）が…。



戒橋の欄干（北西側）

小出画伯は、大阪・島之内の生まれで、旧制市岡中学へ。その時代の縁で水府などとも親交があったようです。

大正から昭和にかけて、大阪が「大大阪」と呼ばれていた時代ですが、名だたる芸術家や文人たちの交流が都市の活気に彩を添えていた良き時代の面影を垣間見ることができます。

コロナが落ち着きましたら、一度ミナミを散策されてはいかがでしょうか。



道頓堀のグリコサイン

そういえば、グリコの名キャッチコピー『一粒 300 メートル』は、岸本水府の手によるものです。

ところで話は変わります。

この春、支部長の石川吉之助さんが、『大阪倶楽部』に入会されました。

『大阪倶楽部』は、110年の歴史を持つ、関西を代表する“紳士”の社交クラブです。石川さんの入会により、時習館 OB は、石川さん（時 12）、藤田和弘さん（時 15）、吉田久善さん（時 15）、竹内隆夫さん（時 21）、そして私の 5 人となり、関西の高校出身者を除けば、今や最大勢力かも知れません。

大阪倶楽部の特徴として、メンバーが自主的に運営する同好会活動が盛んなことが挙げられます。ちなみに、「囲碁部」は 70 人を超える同好会ですが、藤田さん、竹内さんが、その中心的メンバーです。井山名人の師匠である石井邦夫九段の指導碁も月 2 回行われています。

あの稲畑汀子さん（2022 年 2 月に逝去）が直接指導されてきた「俳句部」では、吉田久善さんと竹内隆夫さんご夫妻（奥様も「会友」として参加が可能）が活動されています。

俳句と並んで、十七音（五・七・五）の文芸＝「川柳」の同好会もあり、山崎が世話人をしています。指導は、川柳界の中心人物でもある田中新一さんです。田中さんは、日本最大の同人組織「番傘」の代表で、「朝日なにわ柳壇」の選者でもあります。

宇留嶋美穂さん（「関西二期会」）の指導による「うたごえサロン」もあり、竹内さんご夫妻と山崎が楽しんでいます。

また、「ゴルフ部」（約 200 人）は、年 10 回、関西の名門クラブ（茨木カンツリー、宝塚ゴルフ倶楽部、鳴尾カンツリーなど）でのコンペが行われており、ゴルフ好きにはたまらない存在です。

もう一つ特筆すべきは、日本有数の設備（四つ玉 3 台、三つ玉 1 台、ポケット 2 台）を誇る「撞球部」です。80 歳から始めても上達できると人気上昇中です。

時習・関西の有志による同窓会を 3 回ほど開催した、2 階レストランは風格もありますし、1 階のバーカウンターでの語らいも捨てがたいものです。

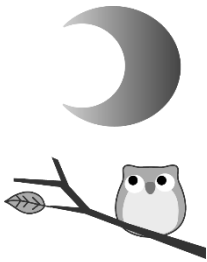
これを機会に、『大阪倶楽部』への入会を検討されてはいかがでしょうか。

現在は、“紳士”の社交クラブとなっていますが、遠からず“淑女”への門戸開放も実現するのでは…、と勝手に思っています。

遊行期とは

古代インド（バラモン教のようです）には「四住期」という考え方があるそうです。人生を学生期（がくしょうき）、家住期（かじゅうき）、林住期（りんじゅうき）、遊行期（ゆぎょうき）の四つに分けて、それぞれに規範となる過ごし方があるという教えのようです。「遊行期」は 75 歳以降の生き方で、この世に対する執念をなくし、住居も捨てて放浪・遊行する時期なのだそうです。いろいろと勉強になりますね。（編集部）

会員だより



長田神社のアオバズク

成長過程をじっくり観察できて幸せ

熊谷 信哉 (時習 18)



長い歴史があり神戸市民の信仰を集めている長田神社（神戸市長田区）にもう一つの名物がある。毎年、青葉の美しくなるころに南から日本に戻ってくるアオバズクだ。境内のクスノキの空洞でヒナを孵（かえ）すが、2021年7月にはひとときコロナ禍を忘れ、その成長過程をじっくり観察できた。

コロナ禍で休会気味だった探鳥会が久しぶりに開かれ「今年も長田神社でアオバズクを見かけた。ヒナの誕生も近いのでは？」と耳寄りな情報が飛び込んできた。

アオバズクはフクロウの仲間では珍しく社寺の境内や人家の近くで繁殖するので人気がある。探鳥会の終わったその足で長田神社に立ち寄ったが、葉っぱや幹に阻まれ、どこにいるか見当もつかない。観察に来ていた人が「ほら、あのクスノキの上の方にいるでしょ」と教えてくれるが、さっぱり分からない。

双眼鏡を覗いても枝や葉にまぎれて見当もつかなかったが、小1時間もするうちに目が慣れてきた。クスノキの小枝に挟まるような格好で金色のまん丸い目が見下ろしている。体全体でこちらに対する警戒感を現しているのだそう。人間は勝手に「可愛い」と騒いでいるが、相手は野生の生き物。“外敵”の出現に懸命に家族を守ろうとしているのだ。アオバズクの迷惑顔にお構いなく私は金色の目、薄茶色に白い縦縞模様すっかり魅入られた。

数日後、観察仲間から「ヒナが見つかった」と緊急連絡。駆けつけると親鳥とほぼ同じ大きさに育ったヒナが比較的低い枝に留まっていた。観察が進むとヒナは3羽で、いつも母鳥と一緒に



撮影はいずれもボランティアグループ「わ」野鳥と自然観察会 代表 堀池 邦康氏。
 ①から21年7月24日、今年巣立ったヒナ3羽が揃ってお披露目 ②野鳥ファンみんなが狙うエンゼル・ポーズは天使を思わせる「M」の字。飛ぶ練習が近づいた時、背伸びをすると見られるというが、カメラに収まるのは珍しい ③神戸人形を思わせるおどけた仕草に見えるが、これは人間に対する警戒の現われ。野生の彼らにとっては真剣勝負

と分かった。父鳥は少し離れた場所から家族を見守っていた。夜は親鳥にエサをねだって甘え、蟬など大型昆虫をもらっているそう。長田神社にはほぼ7月いっぱいどまり、以後は親鳥とともに近くの菊水山や高取山に移り、秋の渡りの特訓を受ける。

○ フルに機能する情報ネットワーク

長田神社にはほぼ2, 3日に一度は通った。

ふだんはこんな頻度で長田神社を訪れることはないが、今回は現地で自然に出来上がったアオバズク情報ネットワークがフルに機能した。こちらがボーとしていても先方からジャンジャン連絡が入って来る。「一家の留まる木が代わった」「今夜は薪能でやかましくなるから昼間のうちに来ておいた方がよい」といった具合である。結果として空振りになることもあるが感謝こそすれ「なあんだ」と思ったことは一度もない。情報を受け取ったら放置せず即刻動く——これが次のフレッシュな情報入手につながることはどこの世界でも同じだろう。

○ 神戸市にもコウノトリ飛来

アオバズク騒ぎが一段落したと思ったら今度は「家の近くにコウノトリ2羽が飛来した」とまたまた極上の情報が飛び込んできた。三田市に近い神戸市北区道場町塩田の田んぼという。すぐアオバズクでお世話になった堀池さんに



近くの谷 和さん撮影 2021年8月

連絡したのは言うまでもない。

コウノトリは生まれた時、個体識別のため両脚に3種類の足環をつけ、その色の組み合わせで孵化場所や孵化年月日など各種情報が得られるシステムが構築されている。その後観察を継続することで巣立ち時期、親鳥の情報も追加されていく。

堀池さんによると今年4月14日、島根県雲南市の野外で孵化した個体と、今年4月6日、京都府京丹後市久美浜町の野外で孵化した若いペアが神戸で出会いカップルになったようだ。鳥たちとの出会いには心踊るものがある。

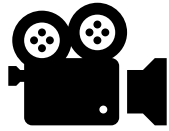
ツバメの罅（ねぐら）入り 人間でいう「若衆宿」

アオバズクと同じようにツバメも渡りの前にある行動をする。アオバズクは親が付いて山の中で渡りに備えた訓練をするが、体が小さいツバメは数万羽から数千羽単位の大きな群れで行動する。昼間はエサを食べ体力を蓄えるが、日没直前の30分くらい前には大軍団が集結、大きな川などの葦原に一斉に飛び込んで眠りの準備に入る。この時の様子がツバメの罅入りと言われ、愛鳥家に親しまれている。行動をともにするのは今年生まれた若鳥ばかりで何と親鳥はいない。彼らは葦の葉にぶら下がりがら何をしているのか。眠りに入る前のひと時「あんたはどこで生まれたの?」「君は秋に南までちゃんと飛べるのかい?」なんておしゃべりをしているかも知れない。目的は初対面同士での仲間づくり、コミュニティー形成。集団で南へ渡っていくためには相互理解と協力が不可欠だ。親はおらず若者同士で社会をつくっていく。人間で言えば「若衆宿」といったところか。「親がいなくて、ちゃんと渡りが出来るのか?」という素朴な疑問が出そうだが、それが体に刷り込まれた本能というものだろう。彼らは星の運行を見て現在位置を瞬時に割り出すなど人間の計り知れぬ途方もない能力を持っている。翌年、同じツバメがピンポイントで同じ場所に帰ってくる事が出来るのもこのせいだ。

こうしたツバメたちに思いを馳せながら人間は彼らの罅入りをつい見たくなり、蚊に悩まされながら足を運んでしまう。近畿でのツバメの罅入りスポットとしては加古川河口、奈良市の平城宮跡（大極殿横）や三木市を流れる美囊川などが知られている。

8月に入りツバメの罅入りが始まると天敵のハヤブサが近くの鉄塔などに陣取る。ハヤブサを見かけるとツバメは怖がり算を乱して葦原に飛び込むので、期待するほどの大集団が見られないこともある。捕らえられ鉄塔のてっぺんでハヤブサの餌食になる若鳥を見るのは忍びないが、ハヤブサも命をつなぐのに懸命である。愛鳥家にとってはこういう光景も計算に入れてのツバメの罅入りと理解して欲しい。

会員だより



企業CMへの出演

吉田 知未（時習 50）



オファーは突然に降ってきました。昼休み、上長から「CM 出演者に推薦したから、がんばってね」と電話があり Web オーディションを受けることに。出演が決まった2週間後には撮影という短いスケジュールでしたが、今の自分にできるだけの準備をして臨みました。

メイン出演者は朝ドラにも出演された安藤サクラさん！数々のCMや映画に出演されており、表現力に優れた女優さんです。今回のCMはそんな安藤さんに積水ハウスの技術力をアピールするというストーリー。私は技術者として断熱性能が良いと大きな窓にできると説明する役でした。

入社以来研究所に勤めてきた技術者の私が得た驚くべき機会、撮影の中で見たこと感じたことを可能な範囲で皆様にお伝えいたします。

○ 普段の業務と出演の関係性

私は、積水ハウスの研究所の中で「窓とその周辺の部材や環境の研究開発」を行っています。一部を具体的に紹介すると、断熱性能の高い窓を新規開発し結露状況や各種基本性能確認したり、窓の周辺部の断熱性能を確保するための固定方法を決めたり、ということをしています。

開発は複数人で行いますが、研究所の女性は私のみでした。昨今の女性活躍推進の流れに乗り、

候補に挙げて貰えたようです。なお、CMに写る大きな窓は、私も開発に参加した断熱性の高い窓です。



積水ハウス YouTube より

○ 衣装は自前

出演が決まったのは嬉しいですが、準備期間が短いので歯医者や美容院の予約はすぐに入れました。衣装はどーなるの？と書いていたら持参するように連絡が。私が出るのは冬のシーン、色の指定も無く何を着たらよいのやら。普段、スーツを着ないため、何とか有るものを見繕いました。コートは

暗い色を指定されたのですがベージュし



屋外撮影の様子

か持っておらず、5月にコートは買いに行けなかったので、これだけは現場で借りました。

○ いよいよ撮影現場へ

撮影は5月下旬、場所は、茨城県古河市にある積水ハウスの関東 TLM (Tomorrow Life Museum) という住宅展示体験施設で行いました。

到着するとメイクバスに乗せられプロのメイクさんに髪の毛のセットやメイクをして貰いました。結構わくわくしていたのですが、一般人にはナチュラルメイクしかないようで、天海祐希のようにはしてもらえませんでした(笑)。

初日は屋外の撮影だったのですが、現場には大量の人が！現場に入るとテレビで見たように「技術者の吉田さん入ります！」と声がかかり、拍手で迎えられた後、撮影がスタート。指示された椅子に座ると周囲にカメラが3台！緊張で足が震える中、リハーサルが始まりました。リハーサル担当の女優さんや助監督などスタッフが緊張を和らげようと、いろいろ話しかけてくれ、頭の中はフ

リーズしていましたが、声はちゃんと出せるようになりました。

安藤サクラさんと対面した時は、本物だ！輝いてる！と震えました。画面越しで見ていた雰囲気と実際が一緒で、距離感が親しみやすく気さくな方でした。しかし、カメラが回るとスイッチがバシッと入り、周囲の空気間が変わり安藤さんの世界に巻き込まれて行きました。表情が豊かな方で、こちらもつられていきました。

○ 撮影秘話

・CMは3部作で耐震編、カスタマーズ編、断熱編となっており、屋外と室内を2日に分けて撮っています。流れるのはたった30秒ですが、1CMあたり、なんと5時間かかっています！カメラの位置替えを含んでいますが、1日に2~2.5時間を3種類撮影。そのため、スタッフさんは朝6時から晩20時ごろまでずっと現場対応。

・安藤さんは各CMに合わせて衣装を着替え、髪形を変えています。カメラが止まると専属のメイクさんが髪形と口紅を直していました。実は、私もカメラカットのたびに肩にかかった髪が後ろに行くように直されていました。シーンでは頭を前後に動かすのですが、カットのたびに直しに来るので恐縮してしまい、首を動かさないように気を遣ったため、より疲れました。

・私が出るシーンの撮影は13時~15時でしたので、5月の日差しは大変強く、肌はじりじりと焼け、黒いズボンが集熱して高温に。日差しが眩しくて自分では精一杯目を開けたつもりでしたが、やっぱり半眼になっていました。瞬きしたら痛くて、眼も日焼けするのを体感しました。映像確認中はスタッフさんが日傘をさしてくれたので助かりました。

・CMは俯瞰で始まりますが、おそらくCGで人



安藤さん
積水ハウス YouTube より

を消しています。撮影の時はカメラマンとか常に周囲に人がいましたから。更に、背景の樹木がCGで紅葉させられており、画面全体に秋のような光の色がかかっています。

・室内での撮影日は、屋外が土砂降りだったので、写真のように透明なシートで庭部分に屋根を作り、大きくて強烈な照明を庭に降り注ぐように当て、まるで晴れた日の庭のような状況を作り出していました。



バルコニー越しの光景

・CMの最後に窓越しのシーンがありますが、スタッフが入念に窓を磨いて、光の反射から立ち位置を入念にチェックして撮影していました。一発OKだったシーンです。

・音声は服の中に付けたマイクで拾っています。ピンマイクのように洋服をつまむことはなく、単4電池の半分の長さの棒状のマイクを襟に裏側から粘着テープで貼り付けていました。バッテリーの入った本体はウエストポーチに入れて付けていましたが、気付かれませんでしたか？

撮影に参加し、発見がいろいろ楽しく、いい思い出になりました。

○ でもやっぱり

YouTubeでは7月から配信されていたのですが、テレビで流れ出してからの方が、「見た！」という方も多いと思い、ON AIRされるまで黙っていました。

実際のCMを自分で見ると、照れくさい面もあり、もっと良くできたのではと思うところもあり、Web上で全世界で見られる状況なのだという怖さもあり、なんだか心が落ち着かないというのが正直な気持ちです。マスク生活で良かった(笑)。

撮影後に会社から1点だけ注意されたのは、「テレビON AIR中は退職しないで」でした。社員じゃないと肖像権とかややこしいのだと思います。

面白い体験をさせていただきましたが、やっぱり技術屋としてモノづくりをし、自分のアイデアが世の中に出ていく方が楽しいな、と感じました。

会員だより



ピアノのせんせい

～ 楽譜は世界共通♪魔法の言語 ～



尾野 文香 (時習 56)



生活に制限のある社会状況がまだまだ続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。帰ろうとした時に豊橋に帰れない日常など、これまで考えたこともありませんでした。不安もありますが、感染対策をして健康第一で前向きに過ごしてまいります。

さて私は数年前から、大阪・池田市の自宅でピアノ教室を開講して「ピアノのせんせい」をしています。演奏することと指導することは別の知識や要領が必要であることを日々実感しており、苦戦しながら楽しみながら指導者として勉強中です。今回はピアノ教室のことを少し書かせていただきます。

○ お教室の方針

- ① 音楽って楽しい!!と心から感じていただけるレッスンを目指します。
- ② 基礎を大切に。自分で楽譜を読み、演奏する能力を身につけていきます。
- ③ その日その場で最適な指導となるよう、常に生徒さんの立場に立って一人一人の個性を尊重します。
- ④ レッスン中の怪我や事故が起きることがないよう安全な環境づくりを心掛けます。

「音楽って楽しい!大好き!!」と心から感じるようになってもらえたら嬉しい。これに尽きます。初めてピアノに触れる方も、ブランクが気になる方も、音楽の道を志す方も。子どもも大人も大歓迎です♪やっぱりあの曲が弾けるようになりました

い、学校の音楽の授業をスムーズに受けられるようになりたい等のご希望がある場合も、お気軽に仰っていただきたいです。可能な限り一人一人のご希望に添ったレッスンをいたします。ピアノの演奏上達には、ある程度の練習とその継続が不可欠です。練習もレッスンも楽しみ!と仰っていただけるようなレッスンを心掛けています。音楽に対して誠実に一緒に楽しく向き合っていけたら嬉しいと考えています。

写真は玄関横に飾っているお気に入りの看板です。最近、大人の生徒さんも入会されました。お近くにお住まいの方やご興味のある方、ぜひ一度体験レッスンにいらしてください。皆様からのご連絡、お待ちしております♪楽器選びから、お手伝いさせていただきます!



玄関の横に掲げている看板



ホームページのアドレスとQRコードです
<http://fumika-ono.jimdo.com>

○ 最近のピアノ教本

私が子どもの頃、導入のためのピアノ教本の代名詞と言えるものに「バイエル」というシリーズがありました。最近では、それに代わって「バステイン」というシリーズが主流になってきています（ともに教本を書いた人の名前です）。アメリカの教本で、ポップな挿絵も楽しく有名な曲も出てきて親しみやすい印象です。個人的な意見としての違いは伴奏にあると思います。ピアノは基本的に左手が伴奏の役割を担うことが多く、曲の難易度が上がる前は伴奏がワンパターンになりがちなのですが、バステインの教本は曲によって形が異なり、種類が非常に豊富です。飽きずに教本を進められる魅力の一つがここにあると私は考えています。



ピアノ教室で最も多く使われているピアノの教本
(バステインとバーナム)

写真は、バステインとバーナムの教本です。音楽と棒人間（バーナム教本の表紙挿絵参照。練習内容の狙いが象徴的に図示されている）の動きがリンクしていて、指の体操になり大人気です。私自身はバイエルを中心に複数の教材でご指導いただき楽しかった記憶しかありませんが、教本にはさまざまな良いものがあります。例えば尊敬する先生の一人が制作に携わっていらっしゃる「オルガン・ピアノの本」、童謡など皆が知っている曲を中心に編成されている「ピアノひけるよ!」、作曲家の先生が編曲もされている「きらきらピアノ」シリーズなども人気の高い教材です。新しい情報も逃さず、良いところ取りをしてレッスンで生かしていきたいと思っています。子どもたちが必要な

知識を身につけつつ、楽しんで取り組めるものを今後も選びたいです。

○ 発表会の開催

2021年夏に発表会を行いました。元々春頃の予定だったのですが、緊急事態宣言で会場が閉館、再延期の開催となりました。ソロはもちろん、連弾、講師演奏、新規ご入会のお友達のインタビューコーナーなど盛りだくさんプログラムでした。



お教室での発表会風景
演奏は筆者の長女と次女

お教室第一回目の発表会ということで、皆がこの日が初ステージ。緊張感もありつつ、温かい雰囲気の中で、たくさんの方々に支えられて無事に終えることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。ご来場くださった方や保護者の方から「心に残る素敵な発表会だった」「やっぱりピアノの生演奏っていいね」「夏休みの良い思い出になった」等の感想を頂戴し、さまざまな準備で蓄積された疲労は一気に吹き飛びました。

このような社会状況になり、改めてステージで演奏ができる、聴ける、ということが、とても幸せな日常であることを実感いたしました。発表会は今後継続して年一回行う予定です。会場にいらっしゃる全ての皆様にとって、素敵な思い出となるステージ創りを、ずっと心掛けていきます。

今年は9月18日（日曜日）の13時から、池田市民文化会館の小ホールで行う予定です。入場無料です。その時お時間が取れる方、ぜひ応援にいらしてください。

○ 番外編♪池田市のスイーツ

関西に来て約 10 年、大阪の池田市に住んで 8 年になりました。人口 10 万人ほどの街ですが住みやすく、市のイメージキャラクター「ふくまるくん」にもすっかり愛着が湧いています。

私は甘いものがとても好きなので、今回は池田市内のお勧めスイーツ店を 3 軒ご紹介したいと思います♪

- ・ル シュクル シュクル
(池田市神田 1-22-12)



ル シュクル シュクルの外観

ハリネズミのモチーフがかわいくて、ケーキもクッキーも焼き菓子も全部美味しいです。全てがお勧めで、的を絞ることができません…。イベントのある日には大行列になることも。カフェはなくテイクアウトのみですが、最近はオンライン・ストアもあるようです。

- ・パティスリー Taikai
(池田市城南 3-1-8)



パティスリー Taikai の看板商品
「五月山はちみつレモンケーキ」

「五月山はちみつレモンケーキ」など、池田市内の街の名前が入っている商品もあり、明るく温

かみのある洋菓子店です。品数も多く「今日は何れにしようかなあ」と毎日行きたくなります。デコレーションケーキも華やかです♪

- ・三菓亭
(池田市井口堂 1-9-23)



三菓亭おすすめの
「あんこーひーセット」

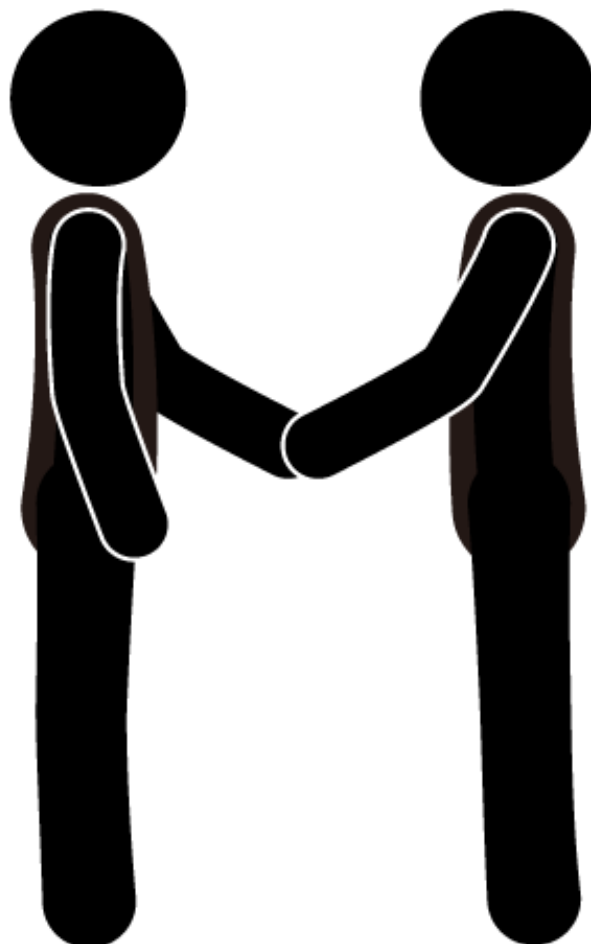
小豆、大豆、珈琲豆の三つの豆にこだわった和風のカフェです。ゆったりと落ち着いた雰囲気、豆がたくさん使用されたランチも美味しいです。名物は夏限定・超山盛りサイズのかき氷！写真は、看板メニュー「あんこーひーセット」です。

お近くにお立ち寄りの際など、ぜひ立ち寄ってみてください。ちなみに豊橋のケーキでは、王道かもしれませんがマッターホーンのダミエが好きです。皆様がお住まいの街のスイーツ情報、ぜひ教えてください♪

今回寄稿させていただくにあたり、数年分の『時習館かんさい』を読み返しました。総会の中止が続いていることは寂しいですが、皆様のわくわくするような記事からパワーをいただき、やはり関西支部の皆様との繋がりは大変心強いと感じました。いつもありがとうございます。安心してお会いできる日が来ることを心待ちにしております。

「お教室」の表現について
3歳くらいからのお子さんにピアノを教えたいと思いで、ピアノ教室を続けています。「お教室」の表現には思い入れがありますので、あえて使わせていただきました。(筆者)

特別投稿



特別投稿



「時習サロン」の活動紹介



東京支部組織委員長 佐野 佳伸 (時習 25)

2020年4月に組織委員長に就任しました。真木さんが事務局長に就任され、その後任です。出身は豊川市牛久保町で、住まいは牛久大仏で有名な茨城県牛久市です。大学は大阪でしたので関西には親しみを持っています。趣味は登山と神社巡りです。

同窓会活動は、2020年2月に幹部会に1回参加したものの、以降はコロナ禍でメールのやり取りと書面開催で行っている状況です。東京支部の重要な活動である時習ファミリー・時習サロン(以下、時習ファミリーはファミリー、時習サロンはサロンと表記)のイベントは感染対策を取りながら開催したり、会場とリモート参加でのハイブリッド企画で実施したりしています。

2015年～2017年にかけてサロンの幹事を担当しましたのでその当手を思い出しながら東京支部のサロンの運営と活動を紹介したいと思います。

○ イベントは年4回開催

サロンとは年1～2回開催されるお楽しみ勉強会(実体は講演会)です。各方面でご活躍の豊中・時習館卒業生の方に興味深い話題について直接お話を伺います。一般には見られない所の見学会のアレンジもあります。そのあとは参加者みんなで講師を囲んで食事会や飲み会になったりもします。毎回20～40名ほどが参加します。

ファミリーは「見学会」で、サロンは「講演会」という位置付けです。両イベントとも以前は現在のような幹事交代の仕組みができておらず、幹事を探すのに苦労していたようです。その改善策として2012年(平成24年)に

- ① イベント開催は、それぞれ年2回を目標とする
- ② 幹事は「同学年者」で構成し、1学年で1幹事を担当する

など6項目の運営ルールをつくりました。

新ルールにより、2012年(平成24年)にファミリーは22回生、2013年(平成25年)にサロンは23回生が幹事学年として担当しました。私たちが25回生は2015年(平成27年)にサロン幹事学年となりました。まずは前任の手伝いをしてから主担当として4回の企画を担当しました。

実際のサロンの企画運営は、半年以上前から講師・日程・講演懇親会場を打ち合わせや下見をしながら決めていきます。その後、機関誌『時習の灯』や同窓会ホームページに掲載して広報・募集を行います。講師とも内容の擦り合わせをしたうえで当日のサロンとなります。時間のかかる企画では、2つの企画を同時並行で動かしていく場合もあります。

大変ですが、活動を通じて幹事仲間以外にも同期の絆が深まり、活動のポイントである同窓会のネットワークをフル活用することにより学年を超えて親しくなり、ひいては同窓会活動の活性化につながっていると思います。それでは私たち25回生が幹事学年として実際に担当したサロンについて紹介します。

○ 近現代史にふれる市ヶ谷台ツアー

実施日：2015年10月14日(水)13:30～18:00
 講師：元自衛官 松岡裕子氏(時習25)
 会場：防衛省本省庁舎内 市ヶ谷記念館

懇親会：ホテル グランドヒル市ヶ谷

参加者：52名

一回目から従来のサロンの殻を破る活動となりました。平日開催で人が集まるのか？ 防衛省見学が政治的に中立という立場で問題ないのか？



松岡裕子氏 (時 25)

結果的には、普段入ることのない防衛省の見学ということで多くの参加者があり、東京裁判や三島事件などの近現代史に焦点を当てて見学会を行いました。また懇親会場での松岡さんの説得力とユーモアのある質疑応答に参加者全員が納得し、楽しく盛り上がりました。意見の違いがあっても受け入れられる時習館の伝統を感じました。お土産につけた市ヶ谷限定の桜あんの饅頭も好評でした。

最後に参加者から「本当に楽しかった、ありがとう」と声をかけていただいたのが、幹事として嬉しかったです。



市ヶ谷記念館前での記念撮影

○ 平田満の役者人生

実施日：2016年2月13日(土) 10:30~15:00

ゲスト：俳優 平田満氏 (時 24)

会場：物語コーポレーション 東京オフィス

懇親会：物語コーポレーション 肉源 赤坂店

参加者：75名

この構想は、約1年前のサロン幹事を引き継ぐ頃から一回目の準備と並行で検討を始めました。

友人の真木さん(時 24)のアプローチにより、快諾いただきましたが、出演に対し次の3つの申し入れがありました。

- ① 講演というような大げさなものは避けたい。
- ② リラックスした雰囲気で行いたい。
- ③ 人数は多くても50名くらい(実際は人気が高くて75名になりました)。

これらを受けてインタビュー形式が良いとの結論になりました。雰囲気のある会場として以前のサロンで使われた同窓会本部小林会長(当時)の東京オフィスがぴったりと思い、同期の雑賀事務局長(当時)経由でお願いし、懇親会も同社の肉源赤坂店を貸し切りで使わせてもらいました。

インタビューは内田浩君(時 25)にお願いし、シナリオを作ってもらいました。裏話をすると、インタビューのネタは平田さんがNHKのスタジオパークに出演した時の内容を参考に高校時代の話を膨らませて組み立てました。

高校時代に燃えたラグビーへの熱い思いや早稲田大学入学後、演劇にのめり込んでいった逸話をユーモアたっぷりに話していただきました。

ハイライトは、映画「蒲田行進曲」の大暴れシーンと階段落ちシーンをスクリーンに映し、しばらく鑑賞した後で撮影にまつわる苦労話を披露していただきました。最後にYES/NOクイズで私生活に関わる質問も交えながら平田さんの素顔に迫りました。



平田満氏(時 24)、内田浩氏(時 25)

インタビューを終えて会場の参加者からの質問タイムは、平田さんとの距離が近いせいかわ多くの

方から矢継ぎ早に質問が投げかけられ、控えめながらも丁寧に答えられていました。



質問に答える平田満氏（時 24）

場所を赤坂の肉源に移して昼食会です。小林会長のあいさつの後、大岩哲郎さん（時 4）の発声で乾杯、完全貸し切りで大盛り上がり。最後は平田さんに何度も何度も大きなお礼の拍手をお送りし、お開きになりました。

○ 岡田康彦さんを囲んで

実施日：2016年10月22日（土）13：30～16：30
 講 師：元東京支部長 岡田康彦氏（時 14）
 会 場：ドイツ料理店 ラインガウ四谷店
 参加者：40名

岡田氏は、これまで同窓会東京支部の支部長として多大な貢献をされ、これからご紹介するような「たぐい稀なる」経歴の持ち主として、お話を聞きしたいと考えました。



岡田康彦氏（時 14）

ご紹介に続いて、まずは冷たいビールで乾杯！司会は平洋子（時 25）さん。巧みに岡田さんの核心に迫る役目です。

忙しく自転車をこぎ続ける（＝自転車操業）のが身上

岡田氏は現在の弁護士事務所での勤務（約5年）までに、大蔵省で24年半、以下長い順に全国労働

金庫協会、環境庁、防衛庁、熊本県庁、日本専売公社（現日本たばこ産業株）と、それぞれ要職を歴任され、大忙しの連続だったとのこと。

中学時代は劣等生

2年生までは、劣等生だったが、3年生になって新しい担任の先生の励ましが氏を発奮させたとか。7月に「秋の中統（中部統一テスト）で1番になってみせる」と豪語。準備期間はたったの3カ月。それまでの勉強不足をもってするとあまりに時間がない。そこで「受験対策の編み出し」を行い、その画期的対策で結果はみごと1番に！「まぐれ



「岡田康彦さんを囲んで」集合写真

だろう」の声に、もう一度トップに。これには会場もびっくり！

かくして岡田氏はその後の東大受験、司法試験、国家公務員試験等にもこの対策を活用し、ことごとく壁を突破されたとのことでした。

「この担任の先生との出会いがなければ、今の自分はなかった」と回顧されました。

質問のコーナーでは時習館時代の質問が殺到

会場には岡田氏の同期14回生の方々11名、質問のコーナーでは高校時代の秘話や同期である奥様獲得の話も飛び出し、にぎやかな会となりました。

○ 意外と知らない「建築とデザイン」のお話

実施日：2017年2月18日（土）11：00～14：00
 講 師：山本那智子氏（時 24）、内田浩氏（時 25）
 会 場：ホテル椿山荘東京
 参加者：43名

25 回生の掉尾を飾るサロンは、6 件の企画案から幹事の投票によって選ばれました。企画者の松岡裕子さんに司会と会場選びをお願いしました。内田さんと松



山本那智子氏（時 24）、内田浩氏（時 25）

岡さんはテニス部の同期、山本さんは憧れの先輩という関係でした。山本さんと内田さんはテニス部つながりで再会し、現在は共同でさまざまなプロジェクトを進める関係とのことでした。

同じ建築関係といっても山本さんはデザイン、内田さんは土木と構造設計で分野が違います。似て非なるお互いの仕事に質問を投げかけながら、それぞれの仕事を紹介するトークショーという形で進められました。質問タイムはランチの松花堂弁当を食べながらとなりました。



懇親会風景

恒例のお楽しみとして建築〇×クイズも行われました。建築関係者も数人いましたが、優勝者は横井愛子さん（時 21）でした。

〇 幻の企画「大神神社（おおみわじんじゃ）」

実施日；2016 年 9 月 23 日（金）13：00～15：00
講 師：大神神社宮司（当時）鈴木寛治氏（時 15）
会 場：大神神社（奈良県桜井市）
参加者：4 名

最終回のサロンは投票で決めたと申しあげましたが、実際には企画案の一位はこの企画でした。筆者が神社に興味があり、時習館の先輩に大神神社の宮司がいらっしやるとお聞きし、ぜひお招き

したいと考えたものです。関西支部の皆さまはご存じと思いますが、大神神社は奈良県桜井市に鎮座し、日本最古クラスの神社の一つです。

鈴木宮司からなかなか色よい返事はもらえませんでした。同期の方から「熱意を伝えられれば引き受けてくれる方だ」とお聞きし、幹事有志で大神神社を訪問し、お願いすることにしました。幹事 3 名と京都から森下庸子さん（時 25）も合流し、9 月 23 日午後には訪問しました。



大神神社拝殿前

鈴木宮司は、「宮司は神に奉仕するのみで皆さまにお話する立場ではない」との信念をお持ちで、残念ながら幻の企画となりました。しかしながら、三輪そうめんをご馳走になりながら、いろいろなお話をお聞きすることができて、私たちの中では「4 人だけのサロンだね」と贅沢な時間を過ごせました。お話の後、拝殿で正式参拝し、摂社の狹井（さい）神社や桜原神社をご案内いただき大満足です。



元伊勢 桜原神社

私事で恐縮です。当時は神社検定参級でしたが、3 年かけて神社検定壹級に合格しました。

特別投稿



支部名物「トヨの会」

名古屋支部幹事長 松原 秀式（時習 24）



○ 名古屋支部の生い立ち

名古屋支部特有の活動として「時習亭」と並び「トヨの会」がある。「時習亭」は月1回定期的な懇親会として、名古屋大須の中華料理店で開催され、毎回20名程の参加を得て世代横断的に懇親の幅を広げている（あいにくコロナ禍で2年ほど、中断を余儀なくされているが…）。

これに対して「トヨの会」はふるさと探訪で三河地区の名所巡りを通じて、同窓の輪を深めていくという企画である。

そもそも名古屋支部の生い立ちは、昭和12年頃にそのルーツが誕生したものの戦争で一旦消滅し、昭和30年近くになり、各地で同窓会の機運が高まった際、昭和33年に「中京時習会」と改名し

再出発した。その後、昭和40年代初め頃まで活動するも中心となっていた世話役の不幸などで10年ほどの間、再度の休眠状態を経て昭和53年に現在の名古屋支部が再建された。

こうした支部存続への紆余曲折の経緯もあり、世代間融合を図りながら、気軽に参加しやすい雰囲気づくりにと、歴代の先輩の方々が活動の基盤づくりに腐心してきた。

○ 外からのふるさと再発見「トヨの会」

「時習亭」は支部再建後間もない昭和56年から現在まで40年余り続き、複数年次合同の輪番制という、名古屋支部特有の方式で世代間交流を促進してきた。これに加えてもう一つの活動の柱

＜表-1＞「トヨの会」の足跡

NO.	開催時期	主な内容
1	1994/11	・豊橋市長との懇談、母校内の豊川海軍工廠殉難供養碑礼拝
2	1995/9	・田原まつり、蔵王山展望
3	1996/3	・奥三河の花祭り紀行
4	1996/10	・市政90周年記念イベント見学、豊橋自然史博物館訪問
5	1997/9	・設楽歴史資料館、鳳来寺山菜料理、長篠城址史跡資料館
6	1998/6	・旧東海道御油・赤坂宿と古刹巡り
7	1999/11	・紅葉の奥浜名湖と古刹巡り
8	2000/3	・湯谷温泉と奥三河布川の花祭り
9	2001/6	・三河武士の源流と知立弘法、八丁味噌の郷訪問
10	2002/9	・菜めし田楽と手筒花火を楽しむ会
11	2003/11	・晩秋の竹島巡りとラグーナ蒲郡
12	2004/7	・浜名湖花博と祇園花火を楽しむ会
13	2005/9	・ええじゃないか祭りと炎の祭典を楽しむ会
14	2006/12	・「早咲きの花」鑑賞とロケ地巡り
15	2008/1	・豊川稲荷と勘助ゆかりの寺巡り
16	2010/1	・遠州法多山と可睡斎の初詣と「おでん車」を楽しむ会
17	2011/5	・茶臼山の芝桜と奥三河の文化を訪ねる会
18	2013/3	・のんほいパークと二川本陣資料館見学

とすべく「トヨの会」が平成6年から平成25年(2013年)までの20年間で18回の行事を重ね支部活動を盛り上げてきた。

あるとき支部の会合の中で「ふるさとを訪ねるツアー」を企画して欲しいとの要望が出た。市電も乗りたい、手筒花火も見たい、伊良湖も豊川稲荷も、設楽の古戦場も、蒲郡方面へも…。私たちのふるさとは自然と文化の宝庫だ。多様で懐が深い。地元にいると身近過ぎて感じないこともふるさとを離れて暮らしているとたまらなく懐かしく、味わい深い魅力に満ちている。そんな外からのふるさと再発見という趣旨で「トヨの会」がスタートした。

表-1に掲載したように、東海道の宿場巡り、三河武士の源流や奥三河文化の探訪、郷里の名所旧跡、伝統行事など、いずれも興味深い企画で毎回20~30名前後の参加者を得て好評を博してきた。このうち、いくつかの企画を紹介したい。文章は主に参加者の寄稿文からの抜粋である。

○ 市長との懇談と母校での豊川海軍工廠殉難供養碑礼拝

記念すべき第1回「トヨの会」は、豊橋鉄道(株)社長であり、豊橋商工会議所副会頭であった神野義郎氏(時3、後の名古屋支部長)に世話役を引き受けて頂いた。当時の高橋アキラ市長(豊中42)との懇談で、東三河地域の都市整備構想のもと、豊橋駅の総合的な開発をはじめ、新たな街づくりや地域活性化への熱弁に耳を傾けたのち、母校を訪ね現況と校内見学へと足を運んだ。



料亭「喜久花」にて市長との懇談
前列右から3番目が当時の高橋アキラ市長

母校では校内に建立された豊川海軍工廠被弾の慰霊碑にて学徒動員で犠牲となった当時の生徒ら38名の戦没者の霊に合掌。碑には詩人岩瀬正男氏の鎮魂句「早咲きの花が散った 美しく」が記され、背面に戦没者38人の氏名が刻まれていた。



豊川海軍工廠殉難供養碑

昭和20年8月7日 豊川海軍工廠はアメリカ空軍の大爆撃を受けて潰滅
折りから作業中の工員学徒2500名は一瞬にして命を失った
本校の犠牲者は教師2名生徒36名
昭和22年 この38名の冥福を祈念するために建立したのがこの碑である

豊川海軍工廠は当時、東洋一の規模を誇っていた海軍の主力軍需工場で、機銃部品や弾丸、火薬等の製造を担っており、徴用工や学徒動員で多い時で6万人にも及んでいたという。



時習館高校の敷地にある「平和の杜」に建立された供養碑

昭和20年8月7日10時頃、B29爆撃機130機余りが投下した250kg爆弾は3,256発。たった30分で豊川海軍工廠は壊滅した。犠牲者は2,500人。本校の生徒ら38名もその犠牲に。終戦1週間前の出来事であった。

○ 奥三河の花祭り紀行

奥三河に伝わる国の指定無形民俗文化財のこの祭り、今から七百年前の室町時代、奥三河の山奥の地に修行に來た修験者が伝えた祭りと傳承されている。祭りは地域の再生・発展、五穀豊穡を願い、疫病から守り神と人々の和合を祈った鎮魂祭と言われる。



花祭り風景

茶臼山山麗の民宿に泊まり、夜中の11時、冬装束に身を固め、会場へ。町の公民館の中で古びたかまどを中心に、笛と太鼓ではやし立て、赤装束の鬼と見物人が一緒になって朝まで踊り続ける。花祭りという言葉から受けるニュアンスとは異なり、陶酔と熱狂の祭りで夜を徹した祭り。参加者13名のほとんどが初めての体験ということで、和気あいあいの感動の旅となった。



帰路の田峰観音（設楽町）での参加者記念撮影

○ 遠州法多山と可睡齋の初詣と「おでん車」を楽しむ会

2010年1月中旬、冬一番の寒さの中、30名の一行が、豊橋駅から観光バスで和気あいあいの初詣のミニトリップへと出発した。遠州法多山と秋葉総本殿「可睡齋」にて初詣。

家康の幼少期から長い縁を育んでいた可睡齋11代目の住職は、当時の浜松城主家康に呼ばれ、城への長い道を駕籠に揺られ、謁見する際に疲れからこっくりこっくりと眠ってしまった。あろうことか、殿様である家康と面談のその時に...。「無

礼である！」といきり立つ勇猛な家臣達に、家康が発した言葉。「和尚我を見ること愛児の如し。故に安心して眠る。われその親密の情を喜ぶ、和尚、眠るべし」。家康を愛しい童のように愛し、家康もまた和尚を愛した。家康と可睡齋の和尚とのエピソード、心温まる逸話。その日からこのお寺は、「可睡（眠ってもいい）齋（寺）」Can sleep temple と呼ばれるようになったとのこと。



可睡齋にある「家康と居眠り和尚の図」

夜の帳が下りる頃、豊橋駅に戻り有志達は路面電車に。

季節名物「おでん車」。暖かい車内でおでんを肴に慰労



路面電車「おでん車」内での乾杯風景

の乾杯、赤岩口までの往復1時間の楽しい反省会。心温まる初詣の締めくくりとなった。

○ 今後の名古屋支部のイベント活動に向けて

「トヨの会」は20年もの長きにわたり名古屋支部の歴史に残る名物行事となった。ふるさと「三河」の再発見という身近な郷愁の旅路として会員の方から親しまれ、好評を博してきた。主要なスポットをほぼ一巡したことから、数年前から名称を「時習名古屋の会」と模様替えした。

今後は「尾張」を含めた幅広い郷土巡りのイベントとして引き続き会員の親睦を深める活動を進めていきたい。

支部便り

活動報告他



行事報告



草花を愛でる 「ちょっと間の楽しみ」

小野 英道 (時 13)



関西支部の行事はほとんど休止状態。わずかに Zoom での「時習さろん」と状況を見て2回の「リアル時習さろん」を実施したのみとか。かつての「お水取り」や「姫路城見学」などが懐かしく思い出される。

「このままでは息が詰まりそう」との声が上がり、有志で全く無計画な旅にチャレンジした。

日時も予算も場所も人数も企画せず、コロナ禍の谷間になりそうだと思ったら吉日とばかりに、互いに声を掛け合い集まる試み。題して「ちょっと間の楽しみ」。今、テスト段階である。

2020年度から4回行われ、昨年度の2回は『時習館かんさい』35号に掲載された。今年度は「草花を愛でる」旅をしたので紹介する。

○ 大阪万博公園「秋のローズフェスタ鑑賞」

(2021年10月24日)

10月に入り第5波が落ち着き始めた。今がチャンスとばかりに「外に出てみよう」との阿吽の呼吸。有志5人で久しぶりの青空の下、まぶしい太陽の光を浴びることに。

万博公園駅で待ち合せ、「ローズフェスタ」の轍の横を通り、公園内に足を踏み入れた。目の前に「太陽の塔」。電車から何気なく見ているものの、まじまじと見たことがないのに気付く。それよりか、裏に回ると「あれれ！太陽の塔には夜の顔があるんだ」と皆驚嘆した。有名で誰でも知っている太陽の塔、でも夜の顔に出合ったのは初めて。



太陽の塔：昼の顔（左）と夜の顔

身近でも知らぬことの多いことに驚かされる。

その後、ローズガーデンに行く。バラの艶やかさに見とれながら時間の経つのも忘れ、心行くまで楽しんだ。

「恋心」と名付けられたバラもあり「青春」時代が蘇る。

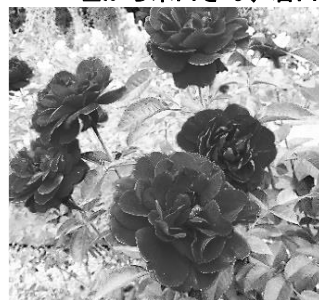
その様子は写真で想像していただきたい。歩き疲れ、残念ながらコスモス園まで足を延ばすことができず、帰ることにした。



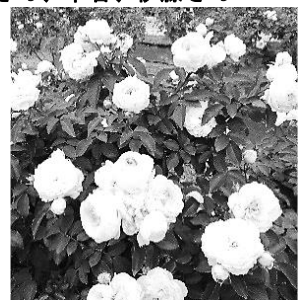
「恋心」



万博公園ローズガーデンにて
左から米田さん、岩田さん、筆者、伊藤さん



ドイツの真紅なバラ



白バラ（名を忘れる）



コスモス園の看板
の前で（片岡さん）



コスモス：筆者が後日撮影

○ コロナ第6波の収束を待ち望む

大阪万博公園のバラ見学後、年末から年始にかけてコロナの第6波。連日感染者数過去最大との報が流れる。再びステイホームの生活に戻った。

やっと3月になり峠を越え緩やかに減り始めた。気候は春に向かい華やいできた。浮き浮きした気持ちになる。花見を兼ねどこかに行こうと声を掛ける。実現したのが、大阪市立自然史博物館の特別展「地球を支える仲間たち」であった。

○ 博物館への道は満開なり

(2022年3月27日)

地下鉄大阪御堂筋線の長居公園駅で待ち合わせ、博物館までは歩くのだが、その時間は約10分程度である。長居競技場の横道をゆっくり歩く。ジョギングする多くの人たちに出会う。桜は満開であった。青空に溶け込む花の耀きについてシャッターを押す。



公園の周回道路は満開の桜並木

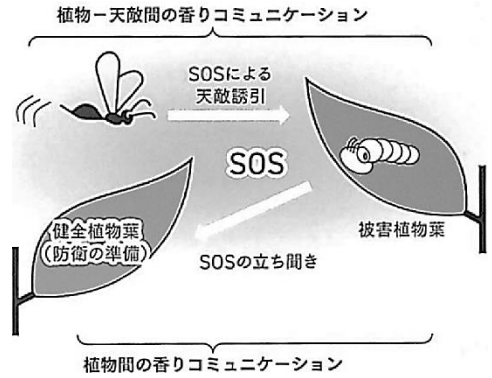
○ 「植物の力」に満ち溢れている館内展示

博物館に着くと、入念に手指消毒と検温をして入場する。展示内容に見入る。まず目を見張ったのが、植物の鋭い五感。光を捉える視覚、振動を察知する聴覚、触覚、化学物質を捉える味覚、嗅覚、どれも動物のような特別な器官なしに感じ取る。この力が人を超える環境適合能力なのだろう。

助けを呼んだり、立ち聞きしたりする植物もあるそうだ。危機管

理能力も半端ではない。この驚くべき能力には恐れ入る。

植物が動物の生みの親であることはよく知られている。高校の生物授業で習ったこと



植物と他の生物とのコミュニケーションを思い出す。約25億年前に、浅い海で、地球に降り注ぐ太陽光をうまく利用し、光合成を行うシアノバクテリア（藍藻）が誕生、大繁殖し、たくさんの酸素を作り出したことによるものだ。

このシアノバクテリアこそ、今湖沼で毛嫌いされている「アオコ」の祖先なのである

植物にはそんなやさしい顔だけではない。恐ろしい顔がある。一瞬にして昆虫を捉える食虫植物。強烈な毒で人の命を奪う果実や草。これも自らの生命を維持する能力の一つだった。



かわいい花だが、果実（右）は猛毒、その名もライオンゴロン

植物の能力を挙げれば切りがない。そんな展示を見ながら、博物館を後にした。80歳前後が3人いた。疲れがピークに達し休むところを探すが見つからず、阿倍野で遅い昼食。そこで傘寿語録が話題に。これ納得である。これも気楽な旅の楽しい会話であった。今後も続けて行きたいと思う。

青春の18才

傘寿の81才

- ・恋に溺れるのが18才 → 風呂でおぼれるのが81才
- ・道路を爆走するのが18才 → 逆走するのが81才
- ・心がもろいのが18才 → 骨がもろいのが81才
- ・恋で胸を詰まらせるのが18才 → 餅で喉を詰まらせるのが81才
- ・ドキドキが止まらないのが18才 → 動悸が止まらないのが81才
- ・偏差値が気になる18才 → 血圧・血糖値が気になる81才
- ・まだ何も知らない18才 → もう何も覚えていない81才
- ・自分探しをしている18才 → 皆が自分を探している81才

筆者が入手した傘寿語録



「時習館同窓会関西支部ゴルフ会」

報告ならびにお知らせ
ゴルフ会幹事 利根川 躍 (時習 21)



時習館同窓会関西支部では例年夏と冬にゴルフ会を開催しています。2021年は6月12日(土)と12月4日(土)に開催しました。

メンバーの日頃の心がけが良いのか両日ともまずまずの好天に恵まれました。

会場は猪名川国際カントリークラブで、当ゴルフ会では初めて使用しました。トリッキーなコースだけに、相当苦勞したメンバーが多かったようです。参加メンバーの名誉のために申し上げますが、普段はもっと好スコアで回っている方が多いと思います。

毎年開催していますので、皆さん是非一度ご参加ください。

○ 第41回 (2021年6月12日)

於 猪名川国際カントリークラブ

《参加者》

石川吉之助 (時 12)、花井俊作 (時 17)、
河合行朗 (時 20)、鈴木 自 (時 20)、
岡田順子 (時 20) 夫妻、青山 寛 (時 21)、
利根川躍 (時 21)

	アウト	イン	GROSS	H・D	NET
優勝	47	50	97	24.0	73.0
2位	62	55	117	40.8	76.2
3位	49	48	97	20.4	76.6
4位	49	47	96	19.2	76.8
5位	44	47	91	13.2	77.8
6位	49	53	102	24.0	78.0
7位	48	55	103	24.0	79.0
8位	79	68	147	61.2	85.8



第41回大会参加者写真

○ 第42回 (2021年12月4日)

於 猪名川国際カントリークラブ

《参加者》

石川吉之助 (時 12)、伊藤忠男 (時 13)、
花井俊作 (時 17)、山村信哉 (時 17)、
河合行朗 (時 20)、鈴木 自 (時 20)、
岡田順子 (時 20) 夫妻、青山 寛 (時 21)、
利根川躍 (時 21)、藤井順子 (時 28)

	アウト	イン	GROSS	H・D	NET
優勝	57	56	113	37.2	75.8
2位	48	50	98	21.6	76.4
3位	48	49	97	20.4	76.6
4位	48	52	100	22.8	77.2
5位	53	53	106	28.8	77.2
6位	49	49	98	20.4	77.6
7位	53	50	103	25.2	77.8
8位	53	56	109	27.6	81.4
9位	49	50	99	14.4	84.6
10位	64	82	146	55.2	90.8
	51	66	117	34.8	82.2



第42回大会参加者写真

事務局 から お知らせとお願い



時習館同窓会関西支部事務局よりのお知らせ

第54回時習館同窓会関西支部総会の延期により、2021年度は2019年度の規約、役員共継続し活動を行ってきました。また、会計報告の承認も延期されています。そのため、本誌には、2019年度、2020年度及び2021年度の会計報告を掲載しています。

2022年度については、第54回総会・懇親会を神戸舞子にて必ず開催することとしています。なお、新型コロナウイルスの流行状況によってはWeb併用を検討いたします。そこでは、役員の改選および規約改正を行います。皆様のご協力をお願いいたします。

時習館同窓会関西支部規約 規約の変更はありません

1. (名称) 本会は時習館同窓会関西支部という。
2. (目的) 本会は会員相互の親睦を計ることを目的とする。
3. (事務局) 〒541-0059 大阪市中央区博労町1-7-16
山本通産株式会社内 (代表者 石川 吉之助) に置く。
4. (会員) 本会の会員は時習館同窓会員で関西地方に在住する者とする。
5. (役員) 本会に次の役員をおく。

支 部 長	1 名
副 支 部 長	若干名
理 事	若干名 (うち1名を会計とする)
監 事	若干名
6. (役員の任期) 役員の任期は2年とする。但し再任を妨げない。
7. (役員の選任) 役員は総会において選出する。
8. (役員の職務)
 - (1) 支部長は本会を代表し、会務を報告する。
 - (2) 副支部長は支部長を補佐し、支部長事故あるときは、その職務を代行する。
 - (3) 理事は支部長・副支部長とともに本会業務の運営にあたる。
 - (4) 監事は本会の会計監査にあたる。
9. (総 会) 総会は毎年1回開催する。但し、必要に応じて臨時総会を開催することができる。総会は支部長が招集する。総会に提出し、その承認を受けなければならない事項は次のとおりとする。
 - (1) 前年度の会務及び収支決算報告
 - (2) 新年度の収支予算
 - (3) 役員の選任
 - (4) 規約の改廃
 - (5) その他の重要な事項
10. (理 事 会) 理事会は、支部長の招集により開催し、本会の運営および企画の審議にあたる。理事会は総会にかわって必要事項を議決することができる。但し、その内容を総会に報告しなければならない。
11. (議 決) 会議の議決は、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
12. (経 費) 本会の経費は、会費、賛助金、寄付金およびその他の収入金をもってこれにあてる。
13. (会 計 年 度) 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。
14. (規約の変更) この規約は総会の議決によって変更することができる。

運用における覚え書き(第53回総会において承認)

- 賛助会員の名称を「シニア会員」とし、切替え時期及び取り扱いには賛助会員と同じとする。
また、学生は「学生会員」とし、原則として、会費を免除する。その結果、会員構成は「シニア会員」「正会員」「学生会員」とし、いずれも、正式な会員とする。
- 事務局補佐体制の新設
事務局体制の整備：事務局長補佐を若干名置くこととし、現時点において、理事河合行朗氏（時20）、理事鈴木優氏（時26）を事務局長補佐に任命する。

従来の「賛助会員」が「シニア会員」となり、正式な会員となりましたことを受け、従来「賛助会員」からの納入を「賛助金」としておりましたが、2019年度より「会費」として会計処理しています。ただし、覚書にもあります通り、取扱いは従来と変わりませんので、会費の納入は任意とし、一口、1,000円とします。そのため会計も「会費（シニア会員）」「会費（正会員）」と分けています。



会員の動静

《お亡くなりになられた方》ご冥福をお祈りいたします。
 ☆時12 中根 和巳 ☆時13 白井 孝夫 ☆時20 梅澤 英光

2013年度または2018年度発行の時習館同窓会会員名簿に記載されている関西在住者の内、転居されたと思われる、その後の住所が不明な方のリストを記載いたします。

住所不明者リスト

豊中～時 20	時 21～時 34	時 35～時 44	時 45～時 55	時 56～
平野 謙二 (豊44)	原田 哲二 (時22)	小林 隆典 (時36)	岡 修 (時45)	木戸口慎吾 (時56)
野村 昭彦 (豊46)	青木三智子 (時22)	松田 学 (時37)	太田有希子 (時46)	木下幸太郎 (時56)
佐藤 達也 (豊47)	新井 明子 (時26)	村松 忠信 (時37)	能村 賀子 (時50)	櫻井 研吾 (時58)
人見祐二郎 (豊49)	久松 敏宏 (時29)	田中 恵 (時39)	松村 憲 (時50)	木本未沙子 (時58)
井上 守也 (時 4)	白川 和志 (時31)	中内 佳奈 (時40)	内垣 予 (時51)	鈴木 綾人 (時59)
山田 喜義 (時 6)	井上 欣樹 (時32)	梅原 大祐 (時42)	野中 良祐 (時51)	伊藤 章人 (時60)
山本レイ子 (時 6)	竹内佐知江 (時33)	斉藤 聖己 (時43)	加藤 直諒 (時53)	浅野実夏子 (時61)
岩崎 佑二 (時10)	竹内 浩史 (時33)	続木 敬洋 (時44)	住吉 稔 (時53)	佐藤 敬久 (時61)
諸星 郁子 (時15)	山本 英司 (時33)	福田 裕子 (時44)	高瀬 貴宏 (時54)	菅河さゆみ (時61)
大羽 禎子 (時16)	佐藤 雅章 (時34)		馬場慎太郎 (時54)	太田 愛里 (時66)
鈴木 圭三 (時17)			榊 沙絵 (時54)	植村 優惠 (時66)
小田 賢治 (時18)			待井耕太郎 (時54)	倉橋 李奈 (時66)
寺沢 礼康 (時20)			山田 美慧 (時54)	園部 華子 (時66)
			河合由実子 (時55)	槇嶋理華子 (時66)
			澄野 健人 (時55)	村松 直香 (時66)

上記会員の方々の動静をご存じの方がおられましたら、事務局までご連絡下さい。

注：従来、住所変更された方の新しい住所を記載していましたが、プライバシー保護のこともあり、ここでの記載を差し控えます。

関西地区在住者(会員)の動静をお知らせ下さい

2018年に発行された時習館同窓会名簿をもとに、関西地区及び関西地区以西（希望者）在住者を会員登録しています。会員同士の親睦・交流をより一層深めていただくのが目的で、個人情報保護という点にも配慮しながら、分かる範囲で総会・懇親会及び各種行事のご連絡を差し上げています。

ご連絡するにあたり、住所が分からなくなった方（住所不明者）、あるいは、関西地区在住者でありながら名簿から抜けている方がおられるかと思えます。ご存じの方がおられるか、また、記載事項に間違いを発見されたら、ご面倒でも事務局（山本通産株式会社内 石川支部長）または山村編集委員長まで郵便、FAXまたはEメール（宛て先は『時習館かんさい』表紙右上参照）でご報告願います。

今回の名簿に限りませんが、あなた自身がいずれかへ入学、就職、転任、転居の際、または改姓・改名の時もお知らせくださるようご協力をお願いいたします。

その時は次の6点を明記してご通知ください。

①卒業年次 ②氏名(旧姓も) ③郵便番号 ④現住所 ⑤職業または勤務先(所在地・屋号・職務など) あるいは卒業または在学学校名(詳しく科別も記入) ⑥(公開してもよい)電話番号か携帯電話番号

この名簿は会員相互の親睦と理解を図る目的で編集しています。個人のプライバシー保護には支部としても充分注意しておりますが、会員の皆様も取り扱いにはくれぐれもご注意ください。同窓会関係以外の第三者に閲覧させたり、交付することは絶対にしないでください。

会計からのお知らせ

2021年度 年会費納入額 (2022年3月31日現在)
シニア会員 232,000円 正会員 110,000円

『時習館かんさい』の発行及び会員の皆様への発送、他支部との交流は皆様方からの年会費でまかなわれています。今年度はシニア会員85名、正会員55名の方からの年会費の納入がありました。ありがとうございました。

年会費の納入をよろしく御願ひ致します

日頃は時習館同窓会関西支部の活動にご協力いただきありがとうございます。

当同窓会の活動は会員の皆様の年会費によって運営されております。時習館関西のホームページの維持管理、会報の作成、総会の計画と準備等の支部活動費に使わせて頂いております。会費は皆様と共に充実した活動を行っていくための大きな力となっております。年々郵送代の値上げ等もあり、活動費が厳しくなっています。

正会員 2,000円、シニア会員は一口(1,000円)以上を、振込用紙で郵便局からお振り込み下さい。なにとぞご協力のほど、よろしくお願い致します。

会計 花井俊作



『時習館かんさい』へ投稿してみませんか

自分の書いた文章や写真が冊子になって同窓生の手許に届くと考えるとワクワクしてきませんか？最近感動したこと、学生時代を振り返ってみて思うこと、こんな活動をしています、こんなイベントに参加しました、最近こんなことを考えています、など、気楽に書いて『時習館かんさい』へ是非ご投稿下さい。「私の1枚!」のようにお気に入りの写真を紹介していただくような形式もOKです。

原稿、写真は1月末ごろまでに、「Eメール添付」「郵送」「FAX(写真は郵送かEメール添付で)」をお願いいたします。

(時習館同窓会関西支部役員一同)

編集後記



やっぱりリアルに集いたい

～リモートな日々を思う～



○ リモートの良さはあるが…

『時習館かんさい』第36号の編集も、対面での編集会議を実施せずメールを中心としたリモートでの作業となった。このような形式での編集は既に3回目。編集委員のメンバーもリモート編集に慣れてきたようだ。

コロナ禍で外出や集まりが制限されるようになって2年以上が経過した。当初は戸惑いと疎外感からカストレスを感じていたが、そんな生活にも否応なく慣れるもので、いつのまにか日常化していることに驚いている。『時習館かんさい』の編集も当たり前のようメールのやり取り(たまの電話も)で作業を進めている。

コロナ禍以前は、対面での編集委員会を数回開催し、メールのやり取りで補って完成に漕ぎつけていた。わざわざ集まるためには、場所の確保、編集委員の日程調整、移動の交通費などが必要で、いろいろと個々人にも負担がかかる。それに比べるとリモートでの編集作業は場所も都合も経費も気にする必要がない。

では「いいこと尽くめか？」というと、そうはなかなか思えなくて、やはり対面の編集委員会を混ぜた方がやりやすいと感じている。

○ ポイントは情報量の差

対面で話をする場合、言葉のやり取りとそれに付加された抑揚、表情、ジェスチャーなど、文字にはとても乗せきれない情報を短時間でやり取りしている。また、同窓生の皆さんからいただいた原稿を拝見して、「なぜこういう表現になっているのか？」といった疑問がある場合に、想像力と時代背景や個人的に知っている情報などを総動員し、たまにはご本人に直接問い合わせるなどをして疑問点の解消を図り、必要な場合は補足説明を加える等の提案を行っている。これらの作業は、年代も経歴も異なる編集委員が集まって知恵

を出し合うからこそできること。

リモートではどうしても情報の交換に限界があることが、やりづらさを感じる元になっていると思う。

○ コロナ禍での新しい動き

昨年の関西支部の理事会は、対面とWebでの同時開催となった。Webカメラで対面の様子を中継し、会場のスクリーンにWeb参加者を映した。対面での参加者とWebでの参加者が同じテンポで意見を戦わせるのは難しいが、理事会を活発にするためには多くの理事が参加しやすい仕組みが必要で、今後も進めてほしい。

Webを利用したリモート参加、リモート会議は、コロナ禍で一気に進んだ。関西支部総会へのWeb参加の動きもある。理事会や総会に直接参加できない理由はさまざま。Web参加して意義深かったと感じられるように、議論を重ねてほしいと考えている。

○ 共感し合うことが大切

多くの生物が産卵や出産または子育ての終了とともに一生を終える中、人類は生物的な役割を終えてからの期間が長い方だと思う。人生の後半部分は、多くの生物から見たら「無駄」に映るのではないだろうか。その無駄な期間があるので、人間は楽しんだり悲しんだりという感情的な営みに時間を使える。

コロナ禍で人間は、直接出向かなくても、直接会えなくても互いに共感し合える手段を急速に発達させている。感覚をフレキシブルにして、今できる手段で交流し共感し合うことが大切ではないだろうか。

とはいえ、直接会って話を弾ませる機会は何事にも代えがたい。今年こそは関西支部総会が開催され、多くの皆さんと集えることを心待ちにしている。

編集委員会一同

